

***wave* CSR**

1mW 作業連絡用無線電話装置

HX826

サポートマニュアル

目次

安全上のご注意	4	作業連絡用を使う	32
絵表示について	4	作業連絡用について	32
特長	8	通話方式 について	32
機器の構成	9	作業連絡用のチャンネルプラン番号と子機番号	32
付属品	9	作業連絡用設定表示	32
オプション	9	作業連絡用の機能設定について	33
無線機の通話について	10	ユーザー設定項目一覧	33
作業連絡用 での設定例	10	ユーザー設定項目について	34
各部の名称	11	ユーザー設定項目変更方法	35
各部の名称と説明	11	固定通話方式について	36
お使いになる前の準備	13	チャンネルプラン番号を42に設定した場合の 通話例（固定通話方式）	36
電池パックを取り付けるには	13	本機を親機として設定して、 3者間通話を行う場合の通話例	37
電池パックを取り外す場合	14	本機を親機として設定して、 2者間通話を行う場合の通話例	37
充電するには	15	ディーラー設定項目一覧 （Std：固定通話方式）	38
本体に電池パックを取り付けた状態で 充電する場合	15	ディーラー設定項目について （固定通話方式）	41
電池パックを単体で充電する場合	17	ディーラー設定項目変更方法 （固定通話方式）	44
タイピンマイクの取り付け方・使い方	19	チャンネルプラン番号／子機番号 周波数表	53
タイピンマイクの取り付け方	19	自動通話方式について	58
タイピンマイクの使い方	20	チャンネルプラン番号を42に設定した場合の 通話例（自動通話方式）	58
ヘッドセットの取り付け・使い方	21	ディーラー設定項目一覧 （Auto：自動通話方式）	59
ヘッドセットの取り付け方	21	ディーラー設定項目について （自動通話方式）	60
ヘッドセットの使い方	22	ディーラー設定項目変更方法 （自動通話方式）	62
ベルトクリップの取り付け方	23	チャンネル選択方式について	67
ストラップの取り付け方	23	システムを4に設定した場合の通話例	67
キャリングケースの取り付け方	24	ディーラー設定項目一覧 （cSr：チャンネル選択方式）	68
基本操作	25	ディーラー設定項目について （チャンネル選択方式）	70
電源の入切	25	ディーラー設定項目変更方法 （チャンネル選択方式）	72
音量の調節	26	周波数表	80
送信するには	27		
受信するには	29		
その他の機能について	30		
キーロック機能	30		
バックライト機能	30		
TX/BUSY（送信/話中）表示	31		
電池残量表示	31		

工場出荷設定	82
設定項目一覧	82
Std：固定通話方式のディーラー	
設定項目一覧	82
Auto：自動通話方式のディーラー	
設定項目一覧	86
cSr：チャンネル選択方式のディーラー	
設定項目一覧	87
その他.....	89
故障かな?と思ったら	89
本機をオールリセットする	90
定格、外形寸法	91
本体定格	91
一般仕様.....	91
送信仕様.....	91
受信仕様.....	91
電池使用可能時間	91
本体外形寸法	92
オプション	93
電池パック CBP825LIA（リチウムイオン電池パック）	
.....	93
単3形乾電池ケース CBT825.....	94
急速充電器 CSA585	95
ACアダプター CAA1210FC（単独充電器用）.....	96
ACアダプター CAA1283FA（連結充電器用）.....	97
マイクスタンド MS01	98
タイピンマイク CTM827	99
タイピンマイク CTM825	100
ヘッドセット CHP825.....	101
ヘッドセットスピーカー SK201JA	102
本体装着型マイク・イヤホン CME825	103
プログラミングケーブル PC-HX827	104
キャリングケース CLC825.....	105
ベルトクリップ CBH825.....	106
保証・アフターサービス（よくお読みください） ...	107
修理を依頼されるときは	108



このたびは、特定小電力無線電話装置 HX826 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品に、万一ご不審な点、お気付きの点などがありましたなら、なるべくお
早めにお買い上げいただきました販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

安全上のご注意










- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

 禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 風呂、シャワー室での使用 禁止	
 分解禁止	 指示を守る	 コンセント を抜く	 注意	 感電注意

警告 (無線機について)

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。



- 当社指定の電池・充電器以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機で利用できる電池パックは当社指定の電池パックCBP825LIAのみです。



- 無線機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電池パックは分解しないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因になります。



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはCSRカスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、無線機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が無線機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、無線機を落としたり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- 濡れた手で無線機に電池パックを取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。



- 水に濡れた場合は、水滴を早めに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



- 無線機または電池パックは火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- 無線機または電池パックの端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池パックを単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。



注意 (無線機について)

- 無線機の分解およびアンテナの付け替え等は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。
- 無線機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）第2条8号「工事設計の認証（認証）を受けた無線局」です。無線機の背面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。



-
- 無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。



-
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両、病院などの使用を禁止された場所では、無線機の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
 - お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
 - 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
 - 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
 - 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。



⚠ 警告 (電池パックについて)

- 電池パックの充電を行うときは、+10℃～+40℃の温度範囲で行ってください。
- 電池パックには、当社指定の無線機・充電器以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



- 電池パックは火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となります。
- 電池パックの端子に直接はんだ付けしないでください。
- 電池パックの端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。
- 電池パックを単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。



- 電池パックは分解しないでください。



- 電池パックを水の中に落とした場合は使用しないでください。
- 電池パックから漏液し、目に入ったときは、こすらずにすぐきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の診察を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。
- 電池パックから漏液し、皮膚や衣服に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。炎症等の皮膚障害を起こす原因となります。



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。すぐに無線機の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。
- 万一、電池パックを落としたり、破損した場合は、まず無線機の電源を切って販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。



- 濡れた手で電池パックを無線機に取り付け・取り外ししないでください。また、電池パックは濡れた手で充電などを行わないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。



- 水に濡れた場合は、水滴を早めに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、火災・感電・故障の原因となります。



- 電池パックの上や近くに水などの入った容器を置かないでください。こぼれたりした場合、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。
- 電池パックの充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。充電端子の腐食や電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。
- 濡れた布に電池パックの端子をあてて置かないでください。充電端子の腐食や電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。



- 充電を行うときに、所定の充電時間を越えても充電が終了しない場合、電池パックを充電器から抜き、充電を停止してください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・破損および性能や寿命の低下の原因になります。



希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になったリチウムイオン電池パックは廃棄せず、販売店またはCSRカスタマーサポートまたはリサイクル協力店へご持参ください。



特長

- 本機は、電波法施行規則第6条「特定小電力無線局」に該当する400MHz帯の無線機で特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）第2条8号「工事設計の認証（認証）を受けた無線局」です。
免許及び申請手続きは一切不要ですので、お買い上げいただいたその日から、ご使用になれます。
- 耐塵・防水基準のIP65/IP68※に準拠した防水構造により、風雨にさらされるフィールドでも安心して使用できます。
※IP65は粉塵が内部に侵入せず、水の直接噴流に対する保護等級です。
IP68は粉塵が内部に侵入せず、連続的な水没（1m24時間）に対応する保護等級です。電池パック未装着でも適応されます。
- 本機は、作業連絡用としてご使用できます。
- 作業連絡用
 - ・送信と受信を同時に行いますので、通話相手の方が話しているのを聞きながら通話ができます。
 - ・本機を作業連絡用の子機として設定し、子機間の通話を当社の作業連絡用通信システムR9020、RP848（親機）が中継をして多者間通話を行います。
 - ・本機を作業連絡用の親機として設定することもできます。
 - ・子機間の通話を親機が中継して行います。子機同士が親機を経由せずに直接話す事はできません。
 - ・送信出力は、1mW固定となります。
- 通話可能範囲の目安
 - ・周囲の建物等の状況により異なりますが、見通しの良い場所（スキー場や海岸など）では、約100mになります。

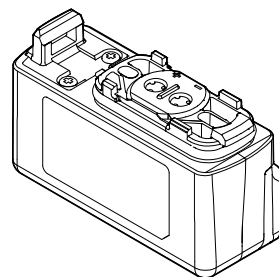
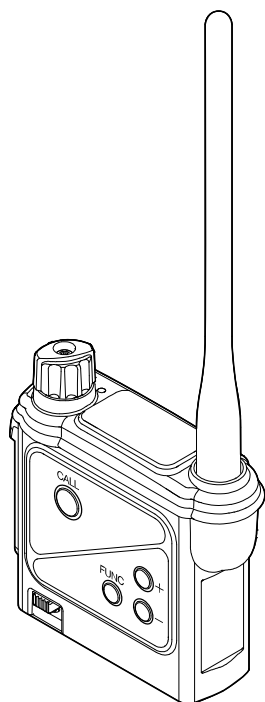
機器の構成

付属品

はじめに、下記の付属品が揃っているかご確認ください。

万が一不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートにお問い合わせください。

無線機本体 HX8261 電池パック CBP825LIA.....1



簡易取扱説明書1



保証書1

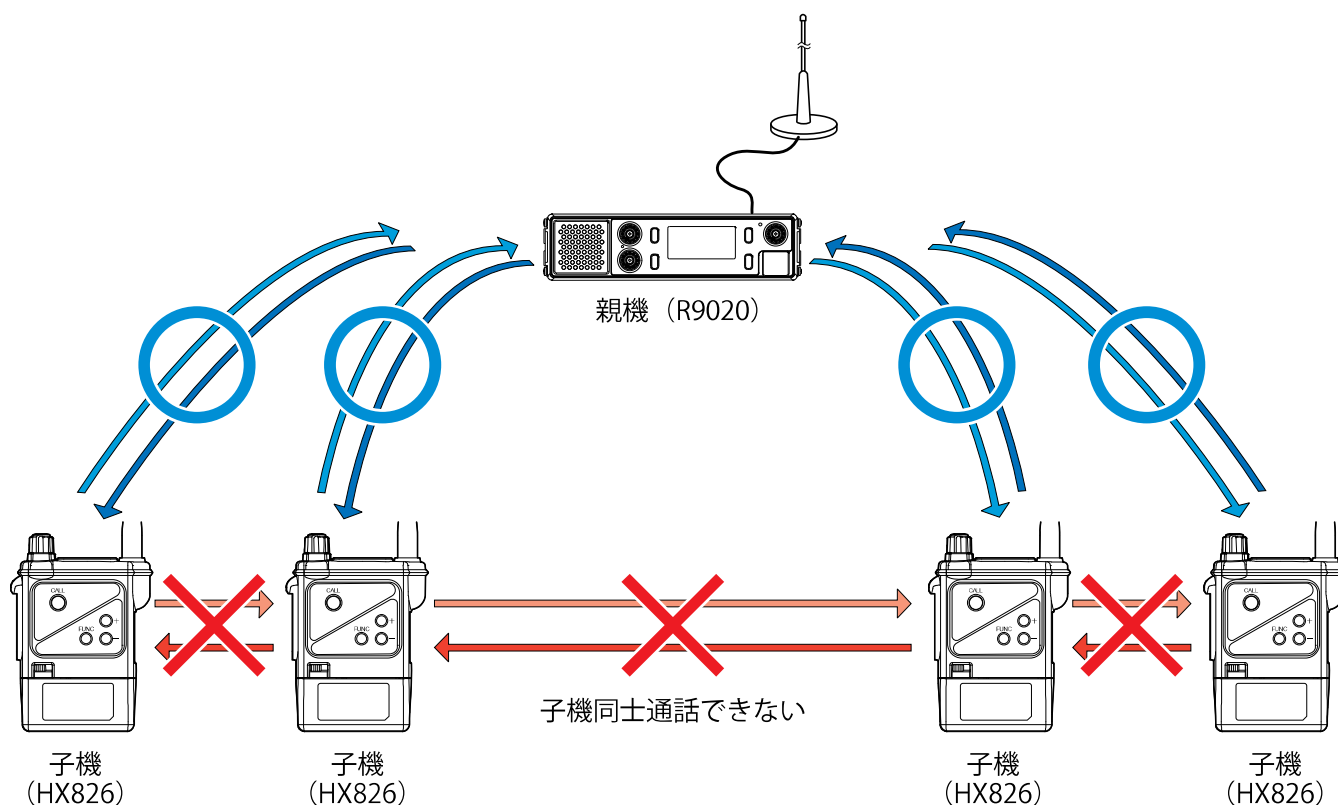
オプション

- リチウムイオン電池パック：CBP825LIA
- 急速充電器：CSA585
- ACアダプター（CSA585 単独用）：CAA1210FC
- ACアダプター（CSA585 連結用）：CAA1283FA
- マイクスタンド：MS01
- タイピンマイク：CTM825
- タイピンマイク：CTM827
- 本体装着型マイク・イヤホン：CME825
- ヘッドセット：CHP825
- ヘッドセットスピーカー：SK201JA
- 乾電池ケース：CBT825
- キャリングケース：CLC825
- ベルトクリップ：CBH825
- プログラミングケーブル：PC-HX827

無線機の通話について

作業連絡用での設定例

- 送信と受信を同時に行いますので、通話相手の方が話しているのを聞きながら通話ができます。
- 本機を作業連絡用の子機として設定し、子機間の通話を当社の作業連絡用通信システム R9020、RP848（親機）が中継をして多者間で通話を行います。
本機を作業連絡用の親機として設定することもできます。
- 子機間の通話を親機が中継して行います。子機同士が親機を経由せずに直接話す事はできません。
- 送信出力は、1mW 固定となります。

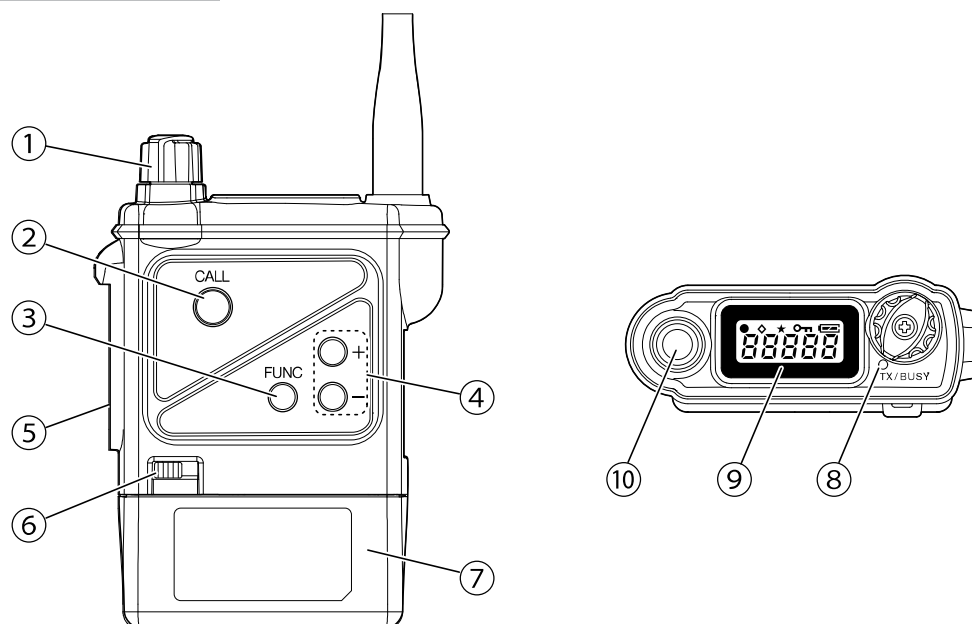


📌 アドバイス

- 設定方法は、「作業連絡用を使う」(P.32) をご覧ください。
- 当社の作業連絡用通信システム R9020（親機）を使用した場合は、最大 5 者間通話が可能です。
- 当社の作業連絡用通信システム RP848（親機）と作業連絡用通信システム CX848（基地局）の組み合わせで使用した場合、最大 9 者間通話が可能です。
- 当社の作業連絡用通信システム RP848（親機）を 2 台と作業連絡用通信システム CX848（基地局）の組み合わせで使用した場合、最大 17 者間通話が可能です。
- 本機では 1 台を親機モードに設定する事で 3 者間通話が可能です。

各部の名称

各部の名称と説明



① 電源/音量ツマミ

- このツマミを時計方向に回すと電源が入り、さらに回すと音量が大きくなります。
- このツマミを反時計方向に回すと、音量が小さくなります。反時計方向に回し切ると電源が切れます。
- ・このツマミを回し切るには、TX/BUSYランプの位置に合わせてください。

② CALL (コール) ボタン

- 通話相手を呼び出すときに押します。また、通話を終了するときに押します。

③ FUNC (機能) ボタン

- このボタンを押してから、チャンネル番号やトーン番号を+/-ボタンで変更します。
- 変更したチャンネル番号やトーン番号のを決定するには、このボタンを再度押します。
- このボタンを2秒以上押すと、キーロックになります。
- ・キーロック中は、CALL (コール) ボタンのみ使用できます。

④ +/- (アップ/ダウン) ボタン

- FUNC (機能) ボタンを押してから、このボタンを押して、チャンネル番号やトーン番号を変更します。

⑤ タイピンマイク・ヘッドセット接続端子

- タイピンマイク (CTM825、CTM827) またはヘッドセット (CHP825) を接続します。

⑥ ロックボタン



- このボタンを右へスライドさせると、電池パックのロックが外れます。
- ・このボタンは、背面にもあります。二本の指で挟むようにスライドして、電池パックを外してください。

⑦ 電池パック (CBP825LIA)

- 付属のリチウムイオン電池パックです。別売の急速充電器 (CSA585) で充電します。

⑧ TX/BUSYランプ

- このランプは、本機の状態をランプの色と点灯・点滅の組み合わせで知らせます。
- 電源を切るには、電源 / 音量ツマミをこのランプの位置に合わせてください。

点灯 / 点滅状態		本機の状態
赤色	 (点灯)	送信中、通話中
	 (点滅)	接続動作中
緑色	 (点灯)	受信

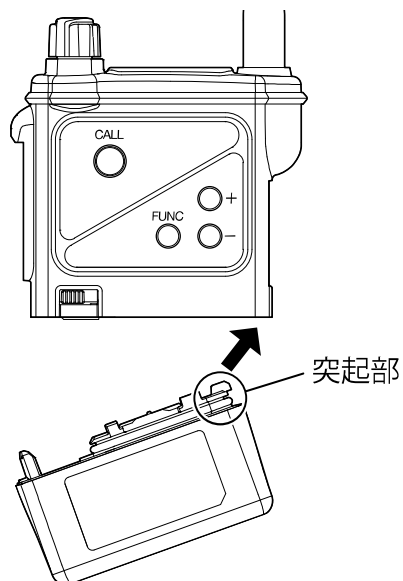
⑨ 表示部

- チャンネル番号、ID 番号、送信出力の設定状態、電池残量、キーロックなどの状態表示を行います。
 - ・ 通話の表示については、「作業連絡用設定表示」(P.32) をご覧ください。
- ヘリカルアンテナです。

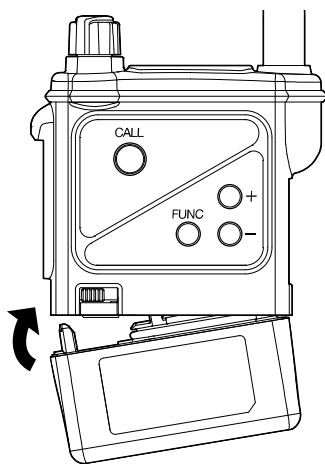
お使いになる前の準備

電池パックを取り付けるには

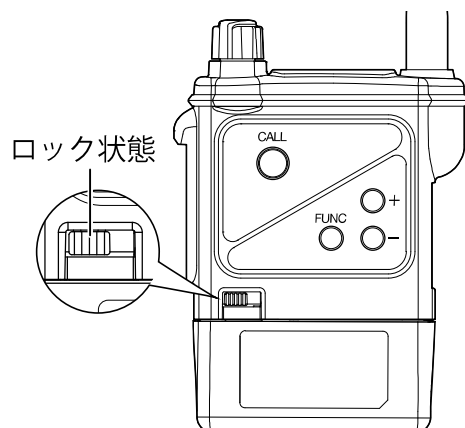
- ① 電池パックの突起部を本体内側の凹みに引っ掛かける



- ② ロックが掛かるように、電池パックを取り付ける
● ロックが掛かる時は、カチッと音がします。



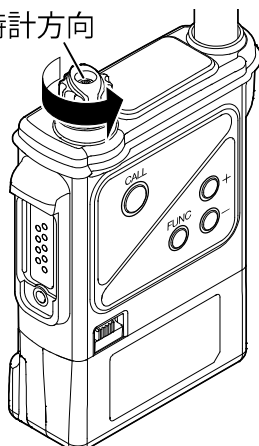
- ③ 電池パックを取り付け後、ロックがしっかりと掛かっていることを確認する



電池パックを取り外す場合

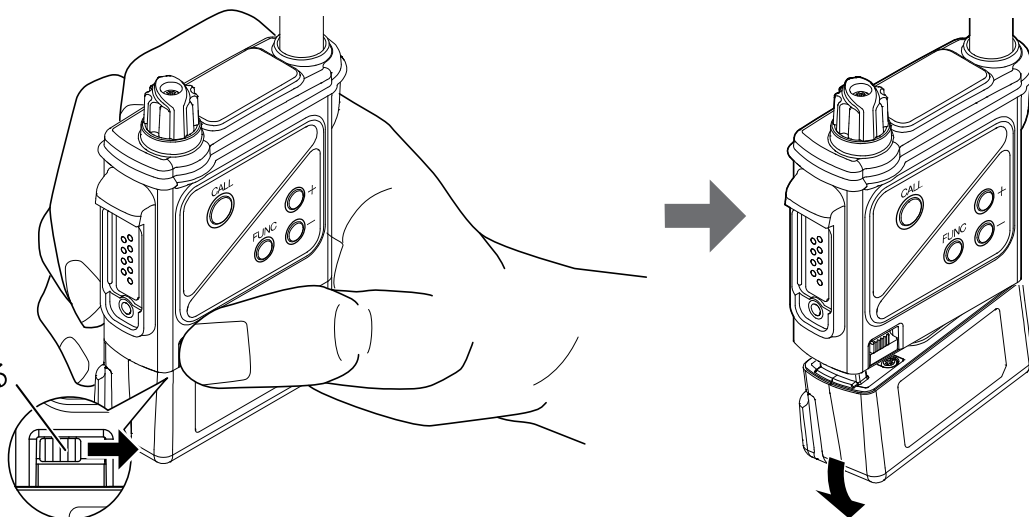
- 1 電源/音量ツマミを反時計方向に回し切り、電源を切る

反時計方向




- 2 ロックボタンをスライドして外し、電池パックを取り外す
● 前面と背面のロックボタンを二本の指で挟むようにスライドしてください。

スライドする



充電するには

お買い上げ直後の電池パックは満充電されていません。お使いになる前に必ず充電してからご使用ください。充電する場合は本機の電源を切った状態にしてください。充電方法は、本体に電池パックを取り付けた状態と電池パック単体の2通りあります。

表示部の電池残量表示 () が点滅したら、電池パックの残りが少なくなっています。早めに充電をおこなってください。

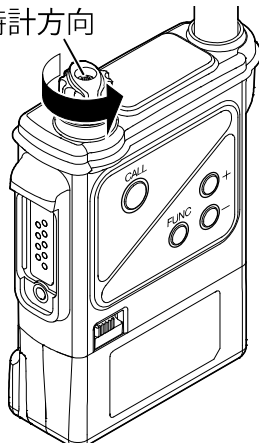
本体に電池パックを取り付けた状態で充電する場合

① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し切り、電源を切る

警告

- 本機の電源を切らないで充電すると正常に充電が終了しません。必ず電源を切って充電を行ってください。

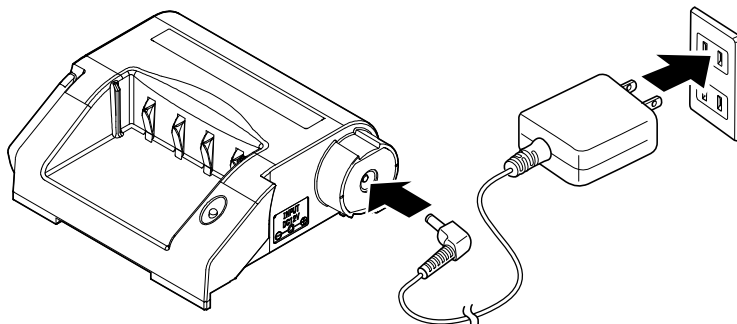
反時計方向



② ACアダプターを充電器に接続します。

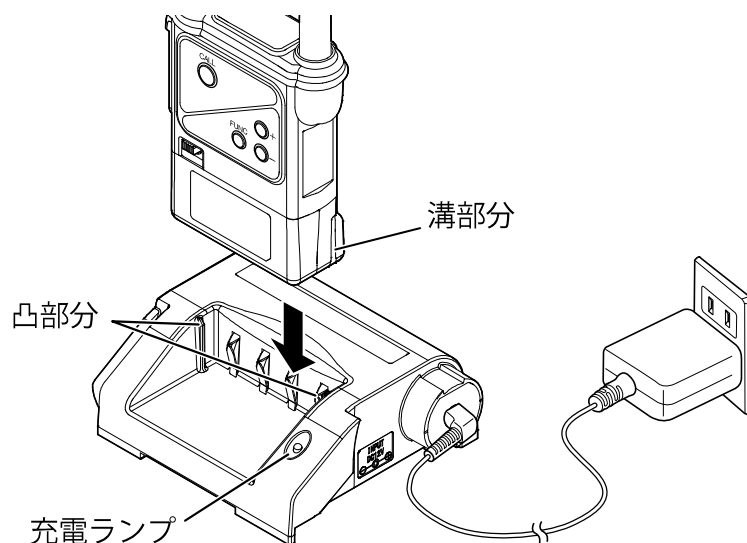
警告

- ACアダプターを接続できるのは、AC（交流）100Vの家庭用電源のみです。他の電源を使用するとACアダプターの故障や感電、発火の原因となります。



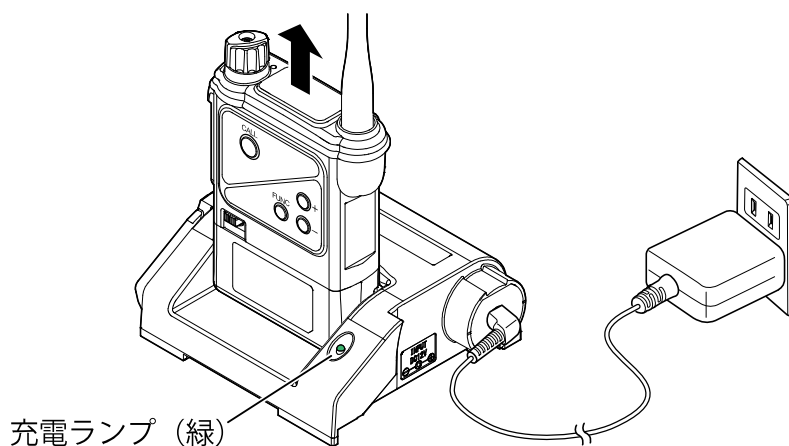
③ 電池パックを取り付けた本体を充電器に挿入する

- 電池パックの両側溝部分と充電器の凸部分を合わせて、充電器の奥までしっかり入れてください。
- 充電器の充電ランプが赤色に点灯し、急速充電が開始されます。



④ 充電が終った電池パックを充電器から取り出す

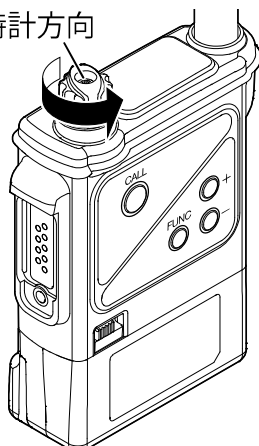
- 充電が終わると、充電器の充電ランプが緑色に点灯します。
- 充電中、充電完了直後は、充電器および電池パックが暖かくなりますが、異常ではありません。



電池パックを単体で充電する場合

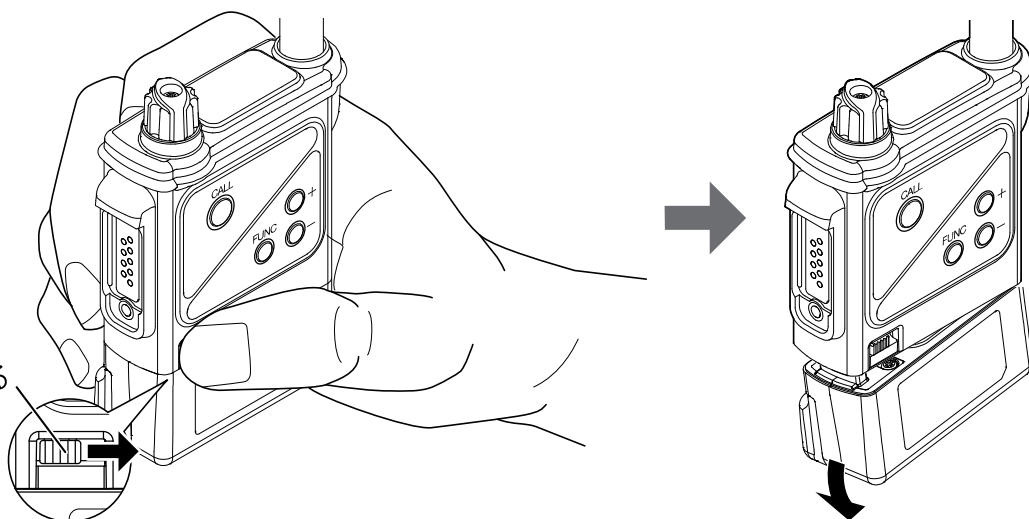
- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し切り、電源を切る

反時計方向

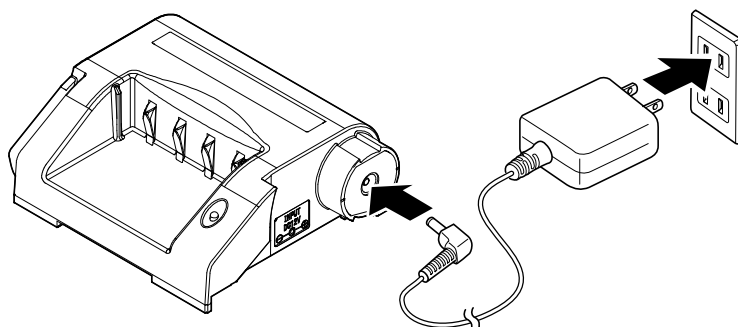


- ② ロックボタンをスライドして外し、電池パックを取り外す
● 前面と背面のロックボタンを二本の指で挟むようにスライドしてください。

スライドする



- ③ ACアダプターを充電器に接続します。

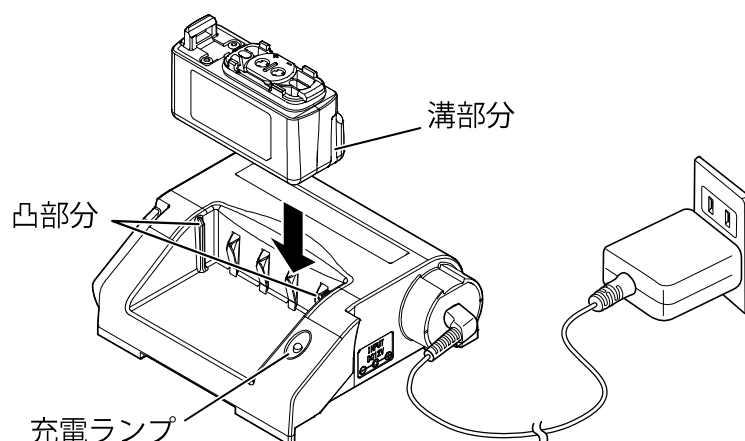


⚠ 警告

- ACアダプターを接続できるのは、AC（交流）100Vの家庭用電源のみです。他の電源を使用するとACアダプターの故障や感電、発火の原因となります。

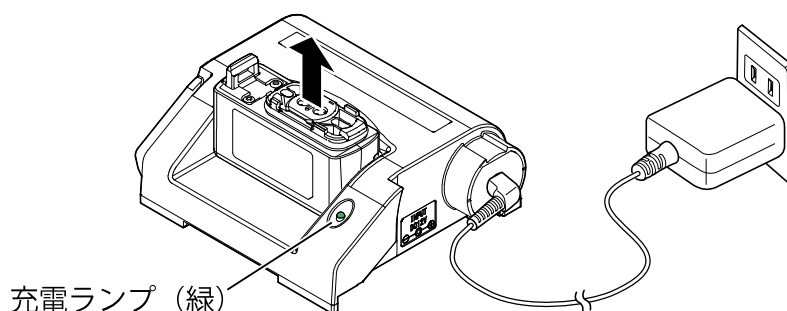
4 電池パックを充電器に挿入する

- 電池パックの両側溝部分と充電器の凸部分を合わせて、充電器の奥までしっかり入れてください。
- 充電器の充電ランプが赤色に点灯し、急速充電が開始されます。



5 充電が終った電池パックを充電器から取り出す

- 充電が終わると、充電器の充電ランプが緑色に点灯します。
- 充電中、充電完了直後は、充電器および電池パックが暖かくなりますが、異常ではありません。



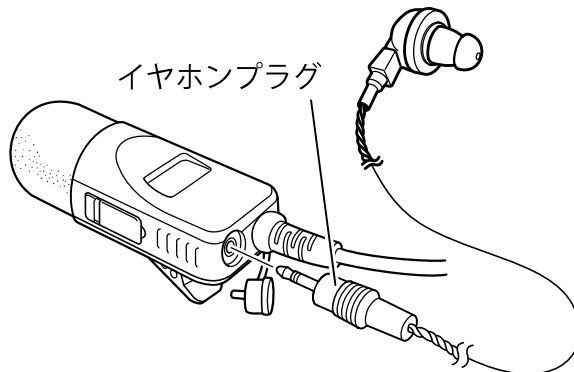
アドバイス

- 充電時間の目安は約3時間です。
- 電池パックは、本機に取り付けたままで充電できます。
- 電池パックを、充電器に挿入した時に充電ランプが赤色点灯しない場合は、接触不良または電池パックの異常です。もう一度電池パックを入れ直してください。それでも充電ランプが点灯しないときは、新しい電池パックとお取り替えください。
- 電池パックの充電を行うときは、 $+10^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$ の温度範囲で行ってください。 $+10^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$ の温度範囲外でご使用になると電池パックの温度保護回路が動作し充電しない場合があります。その際には充電ランプは赤色点灯しません。
- ヒューズが切れた場合は、ミニ平型5Aのヒューズと交換してください。他のヒューズとは交換しないでください。

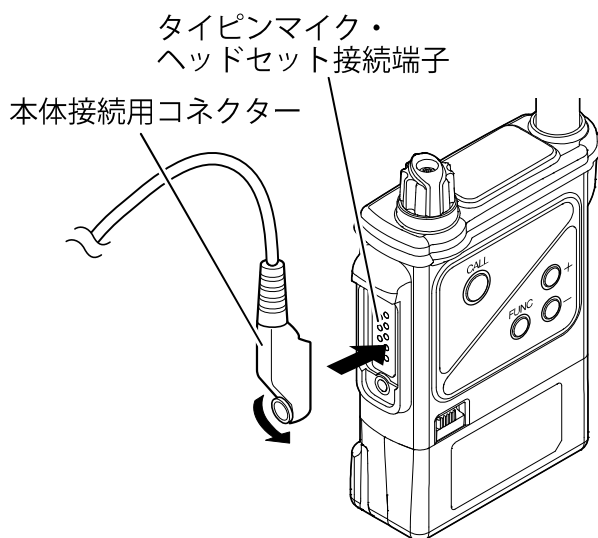
タイピンマイクの取り付け方・使い方

タイピンマイクの取り付け方

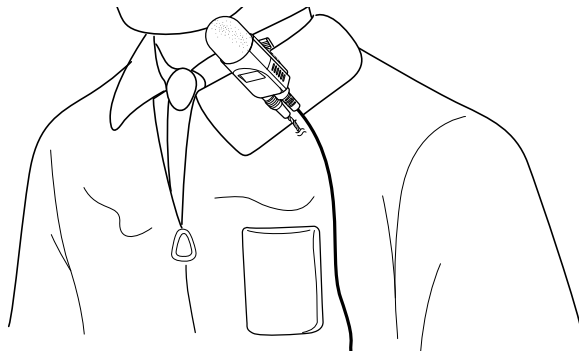
- 1 タイピンマイクに付属するイヤホンのプラグをタイピンマイク底面のジャックに差し込む



- 2 本機のタイピンマイク・ヘッドセット接続端子に本体接続用コネクターを取り付け、ネジをマイナスドライバーなどで回し、しっかりと固定する



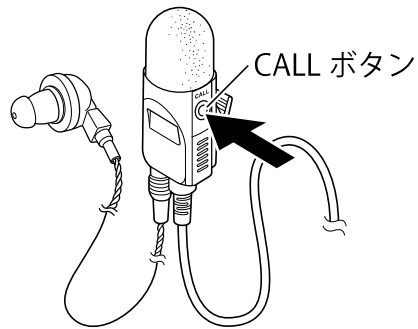
- 3 タイピンマイク裏面のクリップを口元に近い所を選んで固定する



- 4 イヤホンを耳に装着する

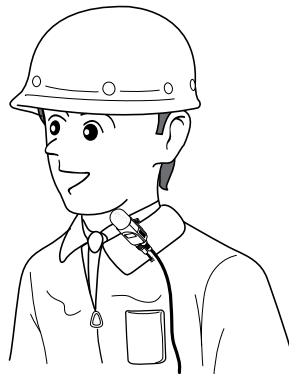
タイピンマイクの使い方

- ① 通話相手の方と接続するには、タイピンマイクの [CALL] ボタンを一度押す



- 送信するとTX/BUSYランプが赤色に点灯します。
- 他の人が同じチャンネルを先に使っているときは送信はできません。このときに [CALL] ボタンを押すとTX/BUSYランプが緑色に点滅します。

- ② タイピンマイクのマイクロホンに向かってゆっくり話す



- ③ 通話を終了するには、[CALL] ボタンをもう一度押す

アドバイス

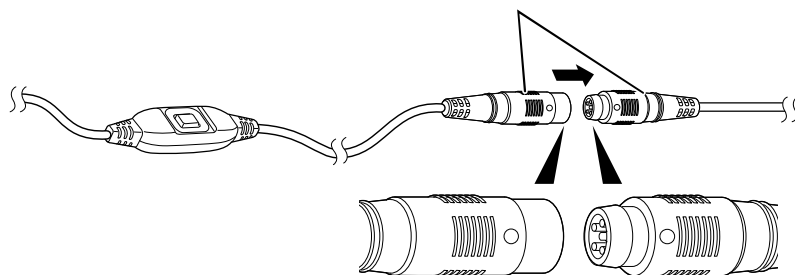
- マイクロホンは、出来るだけ口元に近い場所でお使いください。
- マイクロホンクリップは、出来るだけマイクロホンが口元に近くなる場所に取り付けてください。

ヘッドセットの取り付け・使い方

ヘッドセットの取り付け方

- ① ヘッドセットの中継ケーブルのコネクタを極性に注意して接続する

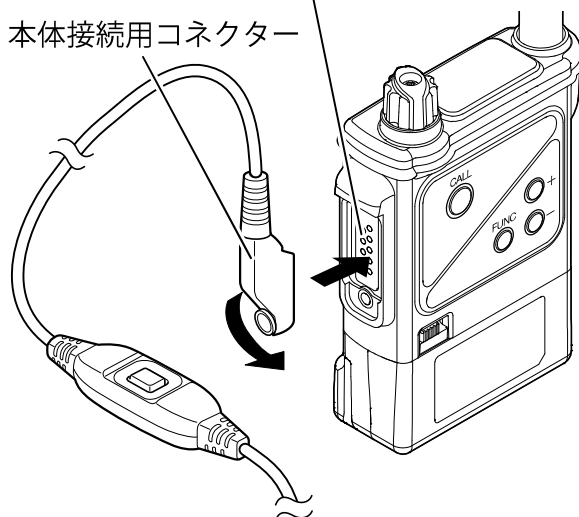
中継ケーブルのコネクター



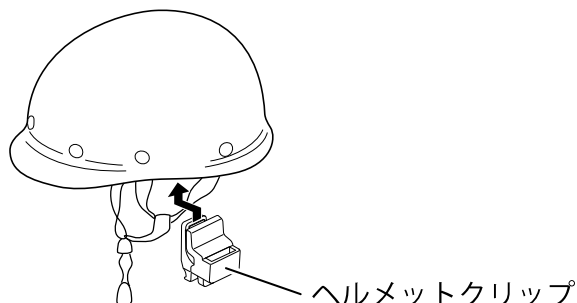
- ② 本機のタイピンマイク・ヘッドセット接続端子に本体接続用コネクターを取り付け、ネジを回し、しっかりと固定する

タイピンマイク・
ヘッドセット接続端子

本体接続用コネクター



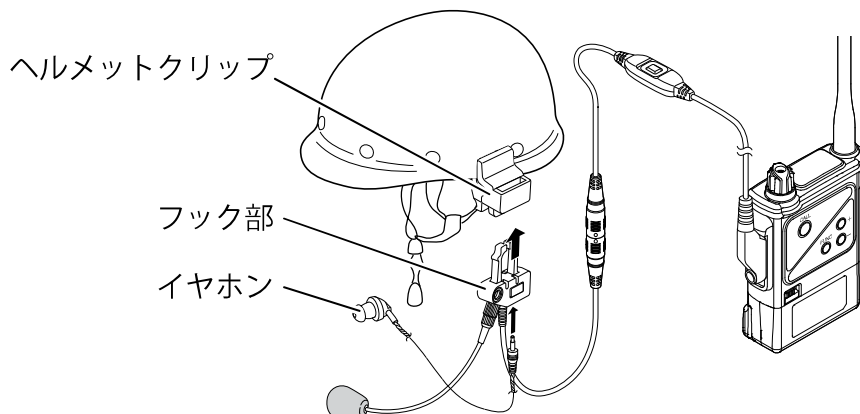
- ③ ヘッドセットのヘルメットクリップをヘルメットに取付ける



⚠ 注意

- 作業時の安全のためヘルメットクリップのバネは、きつめに設定されていますので、取付けの際はけがに注意してください。

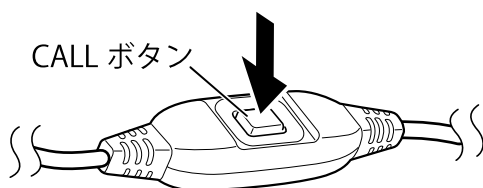
- ④ ヘッドセットのフック部をヘルメットクリップの取付け部に差し込み、イヤホンをフック部に取り付ける



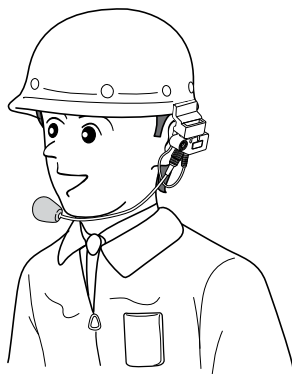
- ⑤ イヤホンを耳に装着する

ヘッドセットの使い方

- ① 通話相手の方と接続するには、[CALL] ボタンを一度押す
- 送信するとTX/BUSYランプが赤色に点灯します。
 - 他の人が同じチャンネルを先に使っているときは送信はできません。このときに [CALL] ボタンを押すとTX/BUSYランプが緑色に点滅します。



- ④ ヘッドセットのマイクロホンに向かってゆっくりと話す



- ③ 通話を終了するには、[CALL] ボタンをもう一度押す

📢 アドバイス

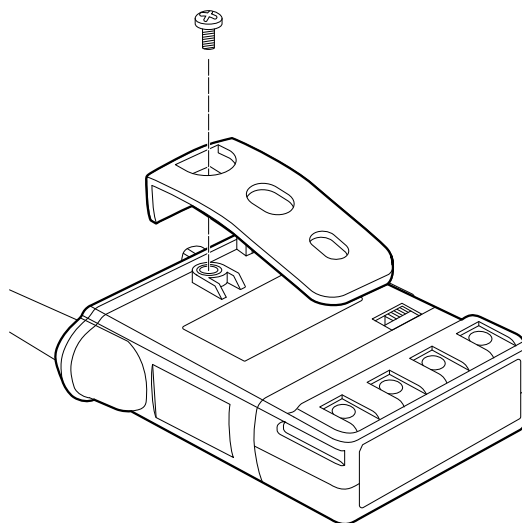
- マイクロホンは、出来るだけ口元に近い場所でお使いください。

ベルトクリップの取り付け方

※ベルトクリップは付属されていません。

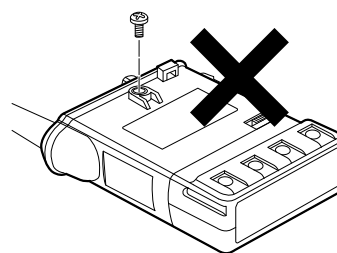
① ベルトクリップに付属されているネジを使ってベルトクリップを固定する

- ネジ締め付け推奨トルク：50 ～ 60N・cm



警告

- ベルトクリップを取り付けずに、付属のネジだけを本機に取り付けないでください。ネジが本機の内部を破損し、故障の原因となります。また、ベルトクリップを取り付けるときは、ネジは付属のもの以外は使用しないでください。

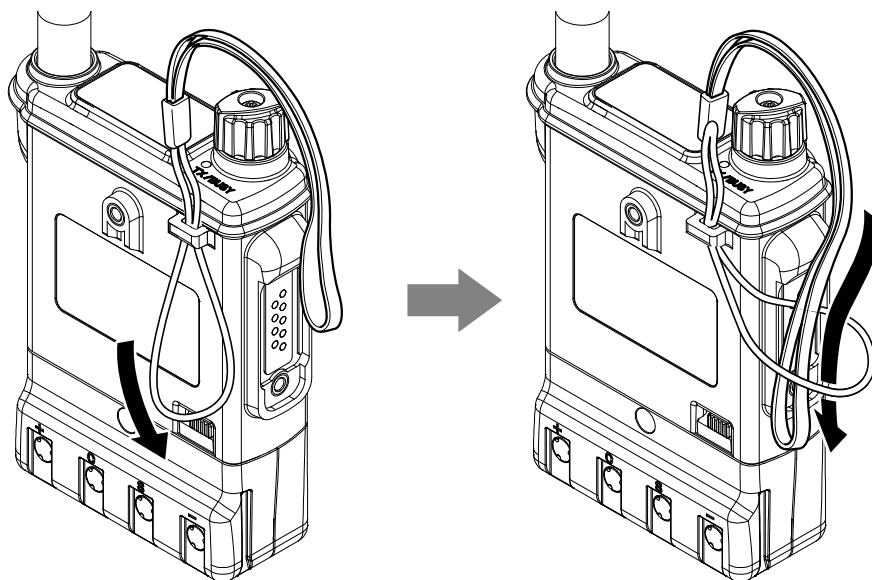


ストラップの取り付け方

※ストラップは付属されていません。

ストラップを本機のストラップホルダーに取り付けることができます。

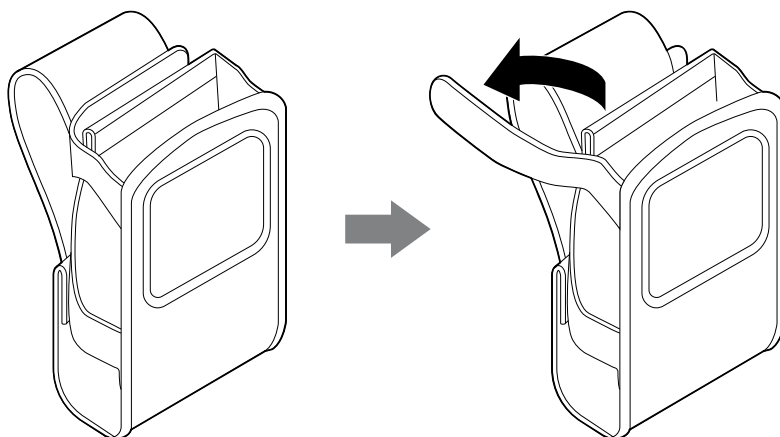
① 下図のように、市販のストラップをストラップホルダーに取り付ける



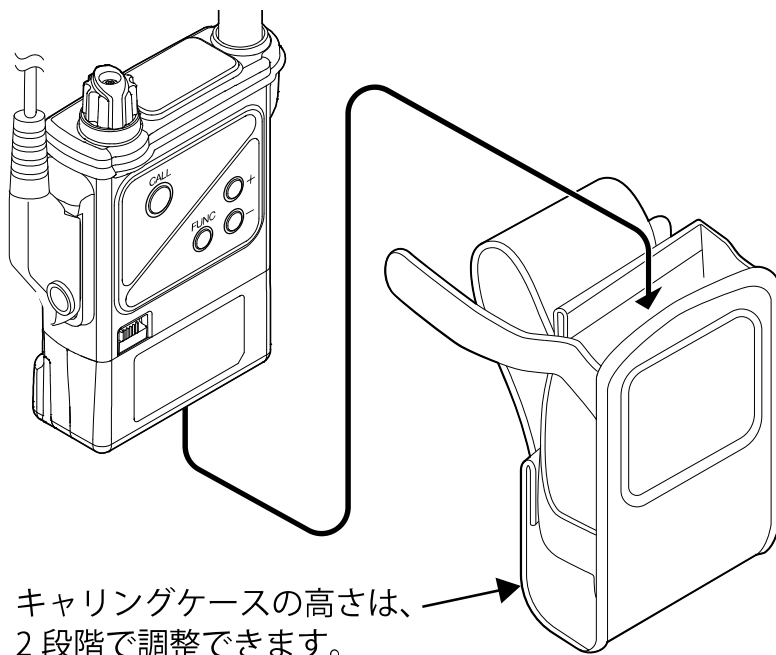
キャリングケースの取り付け方

※キャリングケースは付属されていません。

① キャリングケースのベルト部分を外す



② 本機を入れる



- タイピンマイクまたはヘッドセットを取り付けた状態のままでもキャリングケースに本機を入れることができます。

③ キャリングケースのベルト部分を閉める

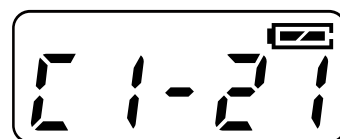
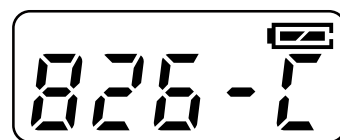
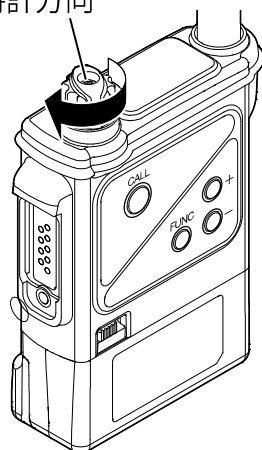
基本操作

電源の入切

① 電源を入れるには、電源/音量ツマミを時計方向に回す

- 表示部に通話が表示され、その後に運用画面が表示されます。

時計方向

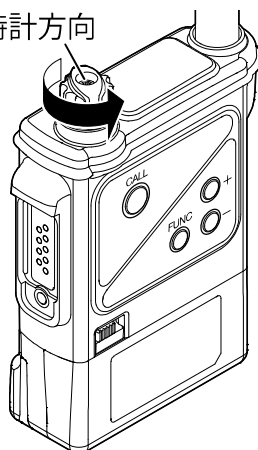


(表示例)

② 電源を切るには、電源/音量ツマミを反時計方向に回す

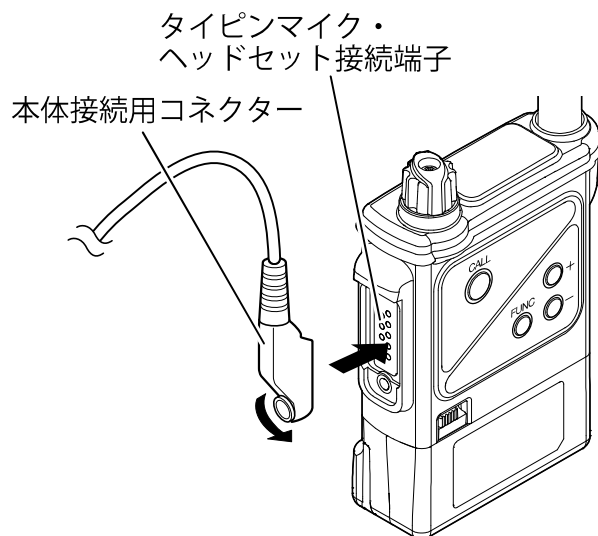
- 表示部の表示が消えます。

反時計方向



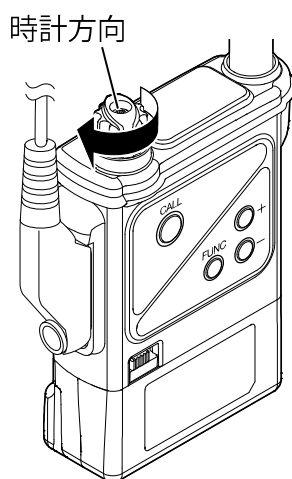
音量の調節

① タイピンマイクまたはヘッドセットを本機に接続する



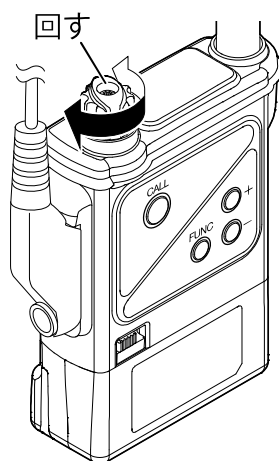
② タイピンマイクまたはヘッドセットのイヤホンに耳に装着する

③ 電源/音量ツマミを時計方向に回して、電源を入れる



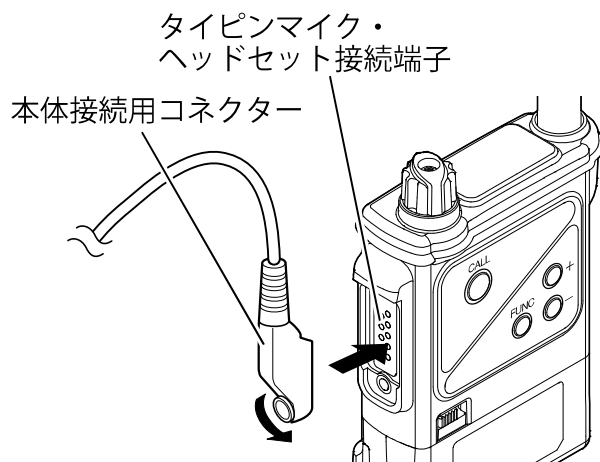
④ 音量を調整するには、電源/音量ツマミを回す

- 電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
- 電源/音量ツマミを反時計方向に回すと音量が小さくなります。

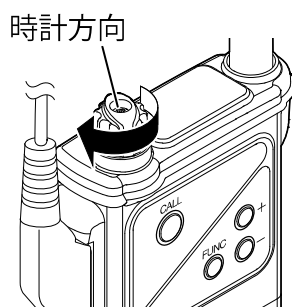


送信するには

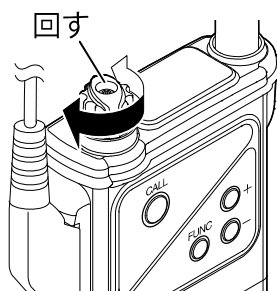
- 1 タイピンマイクまたはヘッドセットを本機に接続する
 - タイピンマイクまたはヘッドセットのイヤホンを耳に入れてください。



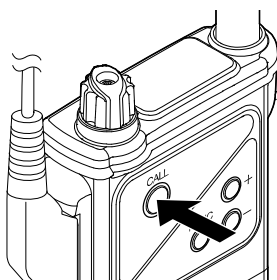
- 2 電源を入れる
 - 電源/音量ツマミを時計方向に回します。



- 3 音量を合わせる
 - 電源/音量ツマミを回し音量を調整します。

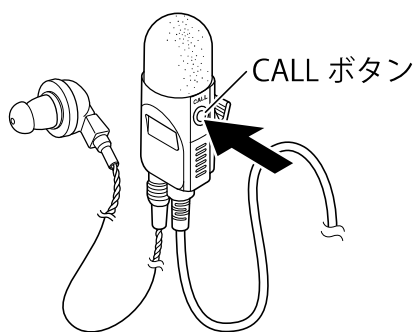


- 4 通話相手の方と接続するには、[CALL] ボタンを一度押す

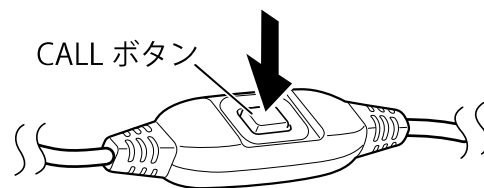


- 送信するとTX/BUSYランプが赤色に点灯します。
- 他の人が同じチャンネル番号を先に使っているときは送信はできません。このときに [CALL] ボタンを押すとTX/BUSYランプが緑色に点滅します。

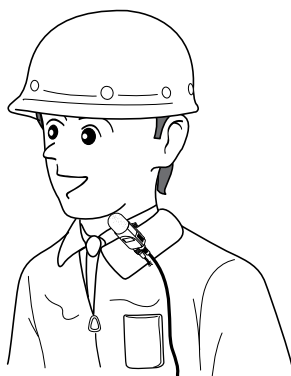
- タイピンマイクまたはヘッドセットの [CALL] ボタンを押しても送信できます。



または



- 5** 本機に接続したタイピンマイクまたはヘッドセットのマイクロホンに向かってゆっくりと話す



または



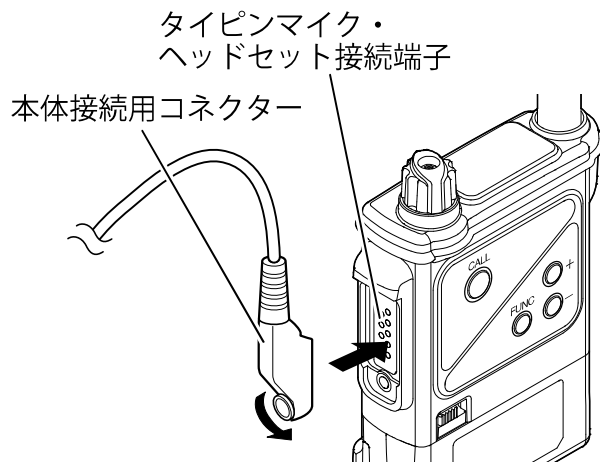
アドバイス

- 通話時間は送信時間・受信時間を含めて無制限です。
- トグル機能が設定されていますので、[CALL] ボタンを押し続ける必要はなく、1度押すだけで送信し続ける状態となります。もう1度押すと送信を解除します。

受信するには

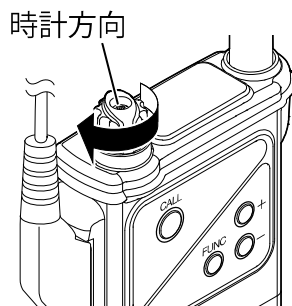
① タイピンマイクまたはヘッドセットを本機に接続する

- タイピンマイクまたはヘッドセットのイヤホンを耳に入れてください。



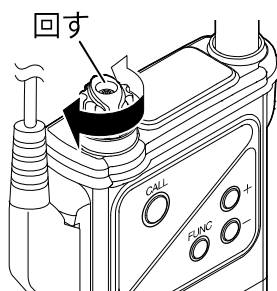
② 電源を入れる

- 電源/音量ツマミを時計方向に回します。



③ 音量を合わせる

- 電源/音量ツマミを回し音量を調整します。



④ 受信するには、相手の方が送信するのを待つ

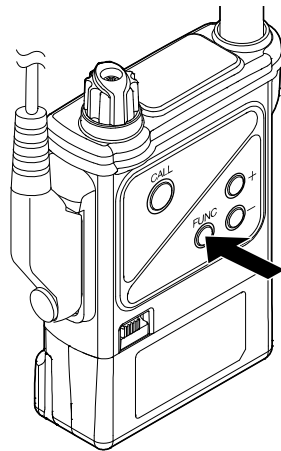
- 予め設定されているチャンネル番号で受信ができます。
- 通話相手の方が話すと、音声が入耳から聞こえます。
- 受信するとTX/BUSYランプが赤色に点灯します。
- 通話相手の方とチャンネル番号や設定内容が違えば、通話できません。設定内容を合わせてください。


これ以降の操作は、特に断りの無い限り、以下の状態とします。
タイピンマイクまたはヘッドセットが装着済み、電源入り済み、音量調整済み。

その他の機能について


キーロック機能

- 1 [FUNC] ボタンを約2秒間長押しする



- 「」(キーロックマーク)が表示され、キーロックが動作します。
- キーロック動作中に各ボタンを押すと「ブブブ」音が鳴ります。
- 本体の電源/音量ツマミおよび[CALL] ボタンは、キーロック中でも使用できます。

- 2 キーロックを解除するには、[FUNC] ボタンを約5秒間長押しする

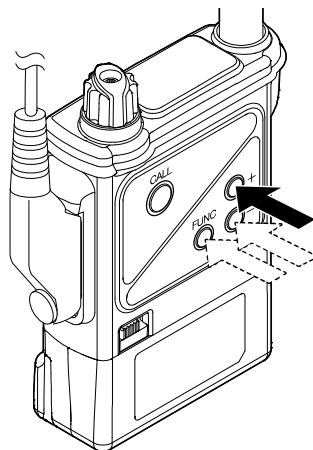
- 「」(キーロックマーク)が消え、キーロックが解除されます。

バックライト機能

「FUNC」ボタン、「+」ボタンまたは「-」ボタンのいずれかを押すと表示部のバックライトが点灯します。

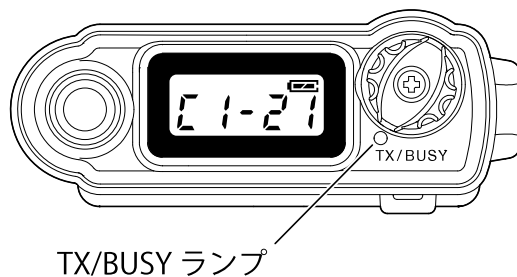
- 1 バックライトを点灯するには、「FUNC」ボタン、「+」ボタンまたは「-」ボタンのいずれかのボタンを押す

- バックライトは5秒間点灯し、その後バックライトは自動的に消灯します。
- バックライト点灯中、ボタン操作があったときはその時点から更に5秒間点灯し、その後に消灯します。



TX/BUSY (送信/話中) 表示

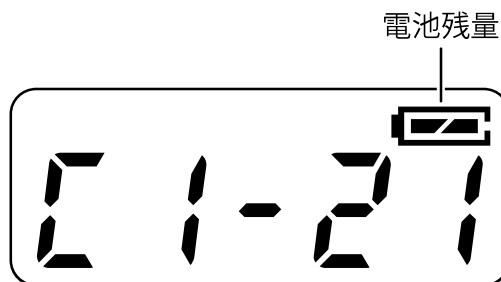
本機の状態を TX/BUSY ランプの色と点灯・点滅の組み合わせで知らせます。



点灯 / 点滅状態		本機の状態
赤色	● (点灯)	送信中、通話中
	⦿ (点滅)	接続動作中
緑色	● (点灯)	受信

電池残量表示

付属電池パックの残量を表示します。



残量表示	電池パックの残量の状態
	電池パックの残量が半分以上ある状態です。
	電池パックの残量は半分以下ですが、まだ使用可能な状態です。
 (点滅)	電池パックの残量はほとんど無い状態です。電池パックを充電するか、充電されている電池パックと交換してください。

作業連絡用を使う

作業連絡用について

- 送信と受信を同時に行いますので、通話相手の方が話しているのを聞きながら通話ができます。
- 本機を作業連絡用の子機として設定し、子機間の通話を当社の作業連絡用通信システム R9020、RP848（親機）が中継をして多者間通話を行います。
- 本機を作業連絡用の親機として設定することもできます。
- 子機間の通話を親機が中継して行います。子機同士が親機を経由せずに直接話す事はできません。
- 送信出力は、1mW 固定となります。

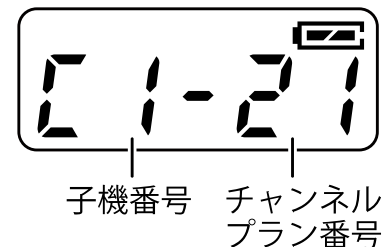
通話方式について

- 本機の使用する通話方式を固定通話方式 (Std)、自動通話方式 (Auto) またはチャンネル選択方式 (cSr) に設定できます。
- お使いになる機器に合わせて通話方式の変更をしてください。
 - ・固定通話方式 (Std) は、親機として R9020、RP848、HX826、HX827 をご使用時、予め決められているチャンネルプランでの通話を行います。
 - ・自動通話方式 (Auto) は、親機として R9020、RP848 をご使用時、親機から子機に空いているチャンネルを知らせ、子機はそのチャンネルを使って通話します。
 - ・チャンネル選択方式 (cSr) は、親機として RP848 をご使用時、送信周波数・受信周波数・送信トーン・受信トーンを各々設定して通話を行います。

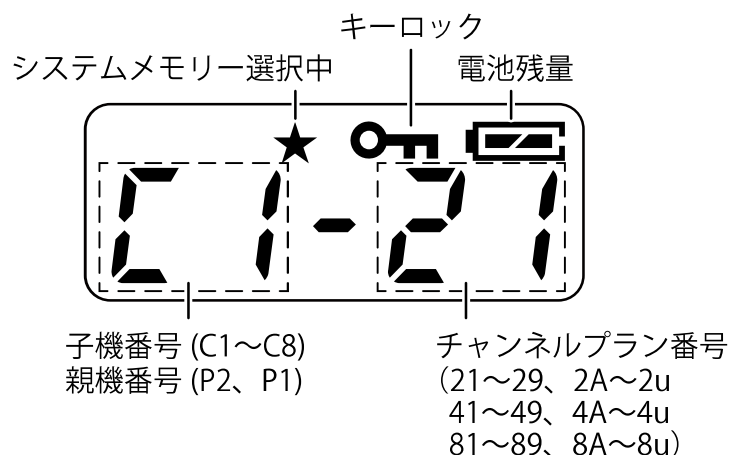
作業連絡用のチャンネルプラン番号と子機番号

本機ではチャンネルプラン番号と子機番号の設定があります。
通話相手の方とチャンネルプラン番号を合わせます。
工場出荷ときにはチャンネルプラン番号は「21」、子機番号は「1」に設定されています。

- ・表示の詳細については、下記の「作業連絡用設定表示」をご覧ください。



作業連絡用設定表示



作業連絡用の機能設定について

作業連絡用の機能を設定するには、ユーザー設定とディーラー設定※の2種類があります。

※ディーラー設定は、お買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

ユーザー設定項目一覧

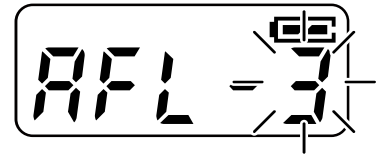
	表示例	項目	設定値	初期値
1	<i>AFL-3</i>	マイク感度	1 (1) : -6dB (低感度) 2 (2) : -3dB 3 (3) : 0dB (標準) 4 (4) : +3dB 5 (5) : +6dB (高感度)	3
2	<i>PttttG</i>	PTT/トグル	tG (tG) : [CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す Pt (Pt) : [CALL] ボタン押下時のみ送信	tG
3	<i>CLPon</i>	終話時 CALL ボタン長押し	on (on) : 終話の際に CALL ボタン長押し (1 秒) oF (oF) : 終話の際に CALL ボタン短押し	on
4	<i>dP-n</i>	反転表示	n (n) : 通常表示、r (r) : 反転表示	n
5	<i>b-oF</i>	バッテリー残量警告音	oF (oF) : 警告音オフ、on (on) : 警告音オン	oF

ユーザー設定項目について

■マイク感度設定

周囲の環境に合わせてマイク感度を設定できます。マイク感度を上げると小さな声でも通話が可能です。周囲が静かなときにお使いください。マイク感度を下げると周囲の音が入りにくくなります。周囲がうるさいときにお使いください。

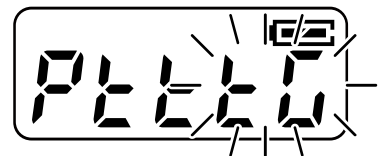
表示	マイク感度
1 (1)	-6dB (低感度)
2 (2)	-3dB
3 (3)	0dB (標準)
4 (4)	+3dB
5 (5)	+6dB (高感度)



■PTT/トグル設定

[CALL] ボタン押下時のみ送信するPTTとして機能するか、押下毎に送信、送信停止を繰り返すトグルとして機能するかを切り替えます。

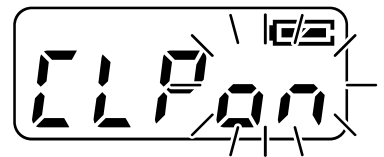
- **tG** (tG) : [CALL] ボタン押下時、トグルとして機能します。
- **Pt** (Pt) : [CALL] ボタン押下時、PTTとして機能します。



■終話時CALL ボタン長押し設定

終話の際に [CALL] ボタンを長押し (1 秒) で動作させるか、短押しで動作させるかの設定です。

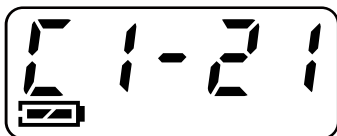
- **on** (on) : 終話の際、[CALL] ボタンを長押し (1 秒) です。
- **oF** (oF) : 終話の際、[CALL] ボタンを短押しです。



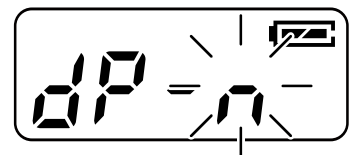
■反転表示設定

本機を胸ポケットなどに入れて、表示内容が見えにくい際、表示内容を180°回転させて、見やすくする機能です。

- **n** (n) : 通常状態の表示です。
- **r** (r) : 反転状態になります。



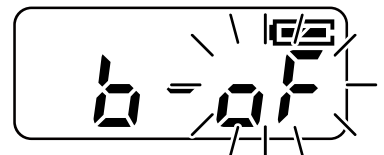
反転表示設定時の例



■バッテリー残量警告音設定

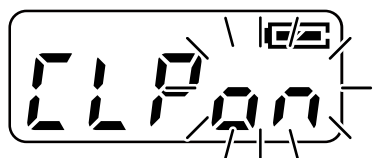
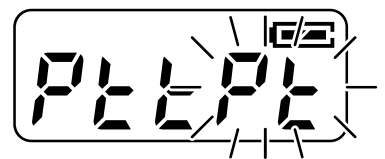
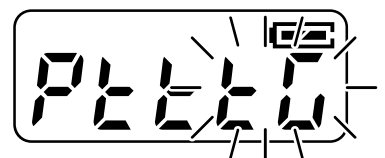
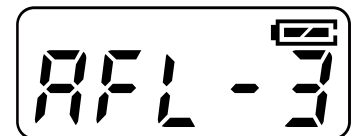
バッテリー残量が少なくなった場合に警告音を鳴らすかどうかの設定を行います。

- **oF** (oF) : バッテリー残量の警告音は鳴りません。
- **on** (on) : バッテリー残量の警告音が鳴ります。



ユーザー設定項目変更方法

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前の通話での、ユーザー設定になります。
- ② [FUNC] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



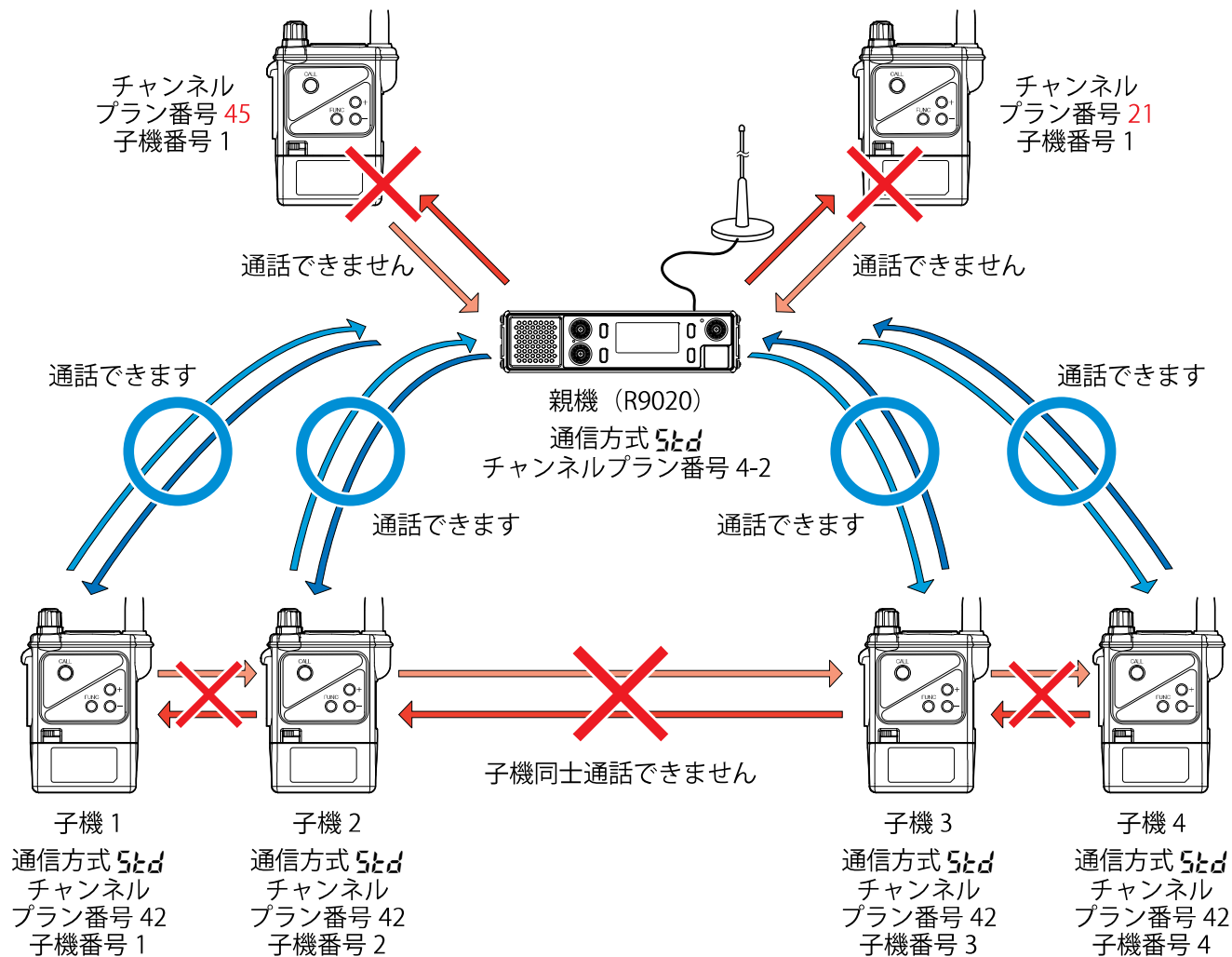
- ③ [FUNC] ボタンを押し、設定項目を選択する
 - [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと設定項目が戻ります。
 - 設定項目および設定内容につきましては、「ユーザー設定項目一覧」(P.33) をご覧ください。
- ④ [+] または [-] ボタンを押して、設定項目の設定内容を変更する
 - 設定項目が初期数値に戻ると、報知音 (ピポ) が鳴ります。
- ⑤ 変更した設定を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと設定項目が戻ります。
- ⑥ さらに設定を変更するには、手順③～⑤を繰り返す
- ⑦ 設定を終了するには、電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 変更した設定が決定されます。
 - 次回電源を入れたときに設定した内容で動作します。

固定通話方式について

- あらかじめ決められているチャンネルプランでの通話を行います。
- R9020（親機）または RP848（親機）と子機は同一のチャンネルプラン番号で通話を行います。チャンネルプラン番号が異なっていると通話できません。
- システムは、2・4・8と3種類あります。
システム2の設定は親機（R9020、RP848、HX826またはHX827）を使用した場合、最大3者間通話が可能です。
システム4の設定は親機（R9020またはRP848）を使用した場合、最大5者間通話が可能です。
システム8の設定は親機（RP848）^{*}を使用した場合、最大9者間通話が可能です。
システム8の設定は親機（RP848）^{*}を2台使用した場合、最大17者間通話が可能です。
※上記のシステム8の設定は、親機 RP848 と CX848 との組み合わせでの使用です。
- 本機を親機として、設定することもできます。
- 固定通話方式の設定は、「ディーラー設定項目一覧 (Std：固定通話方式)」(P.38) をご覧ください。

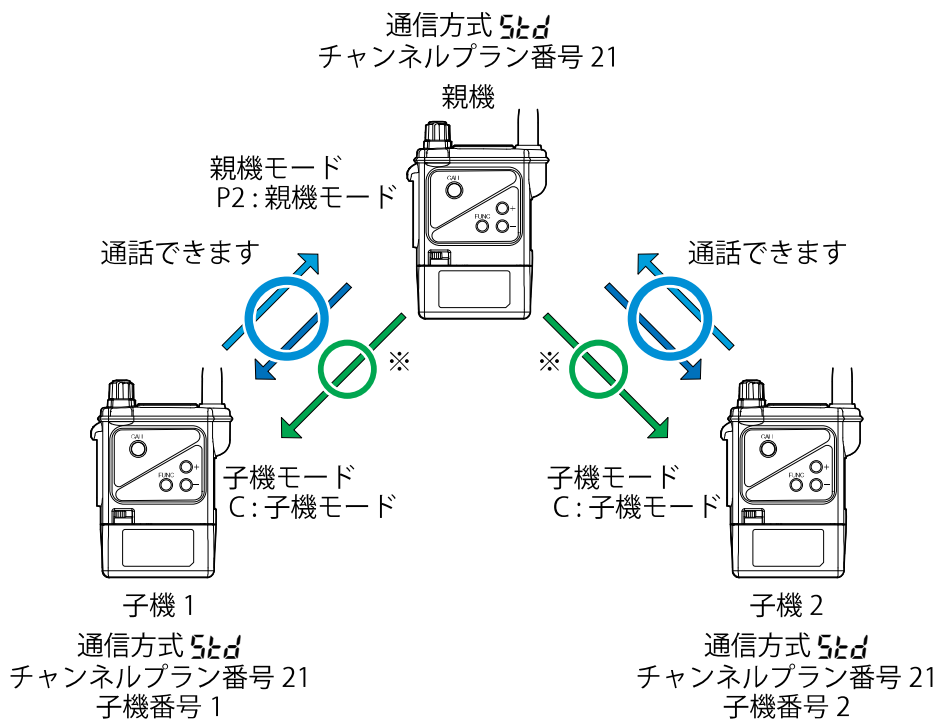
チャンネルプラン番号を 42 に設定した場合の通話例 (固定通話方式)

- R9020（親機）を使用した場合、最大5者間（R9020を含む）通話が可能です。
送信と受信を同時に行いますので、通話相手の方が話しているのを聞きながら通話ができます。



本機を親機として設定して、3者間通話を行う場合の通話例

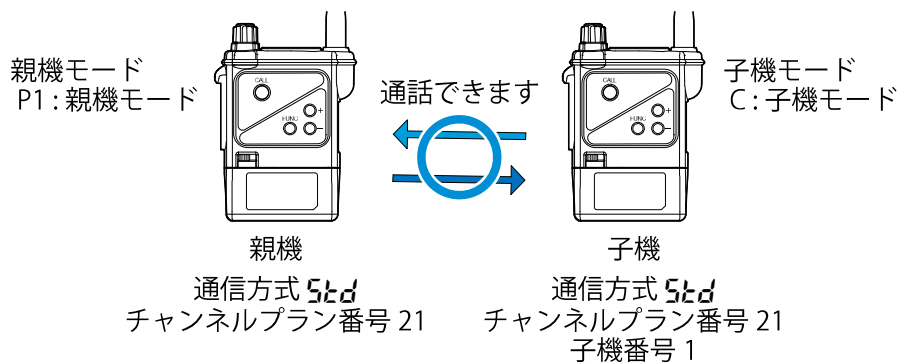
- 本機をディーラー設定にて、親機モード P2：親機モード (3者間通話) 動作に設定します。



※子機1～子機2間も親機を中継して通話ができます。

本機を親機として設定して、2者間通話を行う場合の通話例

- 本機をディーラー設定にて、親機モード P1：親機モード (2者間通話) 動作に設定します。



ディラー設定項目一覧 (Std：固定通話方式)

■C：子機モードの場合

	表示例	項目	設定値	初期値
1	PC C	親機モード	C (C)：子機モード P2 (P2)：親機モード (3者間通話) ※ P1 (P1)：親機モード (2者間通話) ※ ※：親機モードを設定すると自動通話方式 (Auto) とチャンネル選択方式 (cSr) は、表示されません。	C
2	Std	通話方式	Std (Std)：固定通話方式 Auto (Auto)：自動通話方式 (Auto) cSr (cSr)：チャンネル選択方式	Std
3	AFL-3	マイク感度	1 (1)：-6dB (低感度) 2 (2)：-3dB 3 (3)：0dB (標準) 4 (4)：+3dB 5 (5)：+6dB (高感度)	3
4	PttG	PTT/トグル	tG (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す Pt (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	tG
5	CLPon	終話時 CALL ボタン長押し	on (on)：終話の際に CALL ボタン長押し (1 秒) oF (oF)：終話の際に CALL ボタン短押し	on
6	dP-n	反転表示	n (n)：通常表示、r (r)：反転表示	n
7	b-oF	バッテリー残量警告音	oF (oF)：警告音オフ、on (on)：警告音オン	oF
8	A1-21	システムメモリー 親機リモコンモード PSEt	A～E：固定通話方式5種類のシステムをメモリー システムメモリーにて、[CALL] ボタンの押下時に選択されたシステムを親機へ送信し、親機の設定を変更する	A
9	A1-21	チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	21
10	A1-21	子機番号	子機番号を設定	1
11	CLPof	HX826 対向モード	oF (oF)：通話時に親機側から切断しても、子機側の送信は停止しない on (on)：通話時に親機側から切断すると、子機側の送信は停止する 3者間通話、2者間通話の場合、子機側は HX826 対向モードをオンにする必要があります。	oF
12	t A01	送信トーン	固定通話方式送信のトーンを設定	A01
13	r A01	受信トーン	固定通話方式の受信トーンを設定	A01
14	bS-on	バッテリーセーブ	on (on)：バッテリーセーブオン oF (oF)：バッテリーセーブオフ	on
15	PCLoF	電源 ON 時自動接続	oF (oF)：電源 ON 時自動接続オフ on (on)：電源 ON 時自動接続オン	oF
16	LEdoF	通話中 LED 自動消灯	oF (oF)：通話中の TX/BUSY ランプ常時赤点灯 on (on)：通話中の TX/BUSY ランプ赤点灯を 通話開始後 15 秒で消灯	oF
17	tb oF	トーンバースト	oF (oF)：トーンバースト機能の無効 on (on)：トーンバースト機能の有効	oF
18	Pt oF	親機連続送信 (R9020、RP848 設定用)	oF (oF)：親機連続送信機能の無効 on (on)：親機連続送信機能の有効	oF
19	Lt oF	通話圏外警告音	oF (oF)：通話エリア外警告音設定の無効 on (on)：通話エリア外警告音設定の有効	oF
20	RtLoF	親機アッテネータ (R9020、RP848 設定用)	oF (oF)：親機アッテネー機能の無効 on (on)：親機アッテネー機能の有効	oF

● 項目の 3～7 は、ユーザー設定と同一です。

■P2：親機モード（3者間通話）の場合

	表示例	項目	設定値	初期値
1	<i>PC P2</i>	親機モード	<i>C</i> (C)：子機モード <i>P2</i> (P2)：親機モード（3者間通話）※ <i>P1</i> (P1)：親機モード（2者間通話）※ ※：親機モードを設定すると自動通話方式（Auto）とチャンネル選択方式（cSr）は、表示されません。	<i>C</i>
2	<i>Std</i>	通話方式	<i>Std</i> (Std)：固定通話方式	<i>Std</i>
3	<i>AFL-3</i>	マイク感度	<i>1</i> (1)：-6dB（低感度） <i>2</i> (2)：-3dB <i>3</i> (3)：0dB（標準） <i>4</i> (4)：+3dB <i>5</i> (5)：+6dB（高感度）	<i>3</i>
4	<i>PttG</i>	PTT/トグル	<i>tG</i> (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す <i>Pt</i> (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	<i>tG</i>
5	<i>CLPon</i>	終話時CALLボタン長押し	<i>on</i> (on)：終話の際にCALLボタン長押し（1秒） <i>oF</i> (oF)：終話の際にCALLボタン短押し	<i>on</i>
6	<i>dP-n</i>	反転表示	<i>n</i> (n)：通常表示、 <i>r</i> (r)：反転表示	<i>n</i>
7	<i>b-oF</i>	バッテリー残量警告音	<i>oF</i> (oF)：警告音オフ、 <i>on</i> (on)：警告音オン	<i>oF</i>
8	<i>21</i>	チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	<i>21</i>
9	<i>t A01</i>	送信トーン	固定通話方式送信のトーンを設定	<i>A01</i>
10	<i>r 1A01</i>	受信1トーン	固定通話方式の受信1トーンを設定	<i>A01</i>
11	<i>r 2A01</i>	受信2トーン	固定通話方式の受信2トーンを設定	<i>A01</i>
12	<i>b5-on</i>	バッテリーセーブ	<i>on</i> (on)：バッテリーセーブオン <i>oF</i> (oF)：バッテリーセーブオフ	<i>on</i>
13	<i>PCLoF</i>	電源ON時自動接続	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動接続オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動接続オン	<i>oF</i>
14	<i>LEdoF</i>	通話中LED自動消灯	<i>oF</i> (oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯 <i>on</i> (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を 通話開始後15秒で消灯	<i>oF</i>
15	<i>tb oF</i>	トーンバースト	<i>oF</i> (oF)：トーンバースト機能の無効 <i>on</i> (on)：トーンバースト機能の有効	<i>oF</i>
16	<i>CntoF</i>	連続送信	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動送信オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動送信オン	<i>oF</i>

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

■P1：親機モード（2者間通話）の場合

	表示例	項目	設定値	初期値
1	<i>PC P1</i>	親機モード	<i>C</i> (C)：子機モード <i>P2</i> (P2)：親機モード（3者間通話）※ <i>P1</i> (P1)：親機モード（2者間通話）※ ※：親機モードを設定すると自動通話方式（Auto）とチャンネル選択方式（cSr）は、表示されません。	<i>C</i>
2	<i>Std</i>	通話方式	<i>Std</i> (Std)：固定通話方式	<i>Std</i>
3	<i>AFL-3</i>	マイク感度	<i>1</i> (1)：-6dB（低感度） <i>2</i> (2)：-3dB <i>3</i> (3)：0dB（標準） <i>4</i> (4)：+3dB <i>5</i> (5)：+6dB（高感度）	<i>3</i>
4	<i>PttG</i>	PTT/トグル	<i>tG</i> (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す <i>Pt</i> (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	<i>tG</i>
5	<i>CLPon</i>	終話時CALLボタン長押し	<i>on</i> (on)：終話の際にCALLボタン長押し（1秒） <i>oF</i> (oF)：終話の際にCALLボタン短押し	<i>on</i>
6	<i>dP-n</i>	反転表示	<i>n</i> (n)：通常表示、 <i>r</i> (r)：反転表示	<i>n</i>
7	<i>b-oF</i>	バッテリー残量警告音	<i>oF</i> (oF)：警告音オフ、 <i>on</i> (on)：警告音オン	<i>oF</i>
8	<i>21</i>	チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	<i>21</i>
9	<i>t A01</i>	送信トーン	固定通話方式送信のトーンを設定	<i>A01</i>
10	<i>r A01</i>	受信トーン	固定通話方式の受信トーンを設定	<i>A01</i>
11	<i>bS-on</i>	バッテリーセーブ	<i>on</i> (on)：バッテリーセーブオン <i>oF</i> (oF)：バッテリーセーブオフ	<i>on</i>
12	<i>PCLoF</i>	電源ON時自動接続	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動接続オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動接続オン	<i>oF</i>
13	<i>LEdoF</i>	通話中LED自動消灯	<i>oF</i> (oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯 <i>on</i> (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を 通話開始後15秒で消灯	<i>oF</i>
14	<i>tb oF</i>	トーンバースト	<i>oF</i> (oF)：トーンバースト機能の無効 <i>on</i> (on)：トーンバースト機能の有効	<i>oF</i>
15	<i>CntoF</i>	連続送信	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動送信オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動送信オン	<i>oF</i>

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

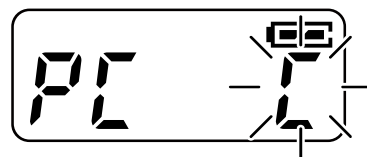
ディラー設定項目について（固定通話方式）

■親機モード設定

本機を作業連絡用の親機として設定することができます。

- **C** (C)：子機モードを設定します。
- **P2** (P2)：親機モード（3者間通話）を設定します。
親機、子機×2で、3者間通話ができます。
- **P1** (P1)：親機モード（2者間通話）を設定します。
親機、子機で、2者間通話ができます。

※P2、P1：親機モードを設定すると、自動通話方式(Auto)とチャンネル選択方式(cSr)は、表示されません。



■通話方式設定

本機の作業連絡用にて使用する通話方式を固定通話方式(Std)、自動通話方式(Auto)またはチャンネル選択方式(cSr)に設定できます

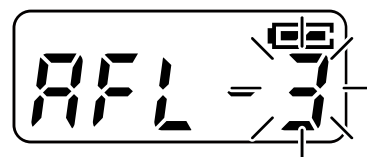
- **Std**(Std)：固定通話方式
- **Auto**(Auto)：自動通話方式(Auto)
- **cSr**(cSr)：チャンネル選択方式



■マイク感度設定

周囲の環境に合わせてマイク感度を設定できます。マイク感度を上げると小さな声でも通話が可能です。周囲が静かなときにお使いください。マイク感度を下げると周囲の音が入りにくくなります。周囲がうるさいときにお使いください。

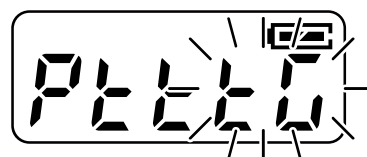
表示	マイク感度
1 (1)	-6dB (低感度)
2 (2)	-3dB
3 (3)	0dB (標準)
4 (4)	+3dB
5 (5)	+6dB (高感度)



■PTT/トグル設定

[CALL] ボタン押下時のみ送信するPTTとして機能するか、押下毎に送信、送信停止を繰り返すトグルとして機能するかを切り替えます。

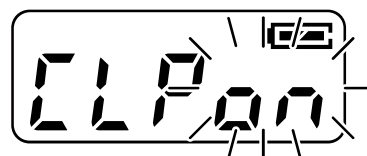
- **tG** (tG)：[CALL] ボタン押下時、トグルとして機能します。
- **Pt** (Pt)：[CALL] ボタン押下時、PTTとして機能します。



■終話時CALLボタン長押し設定

終話の際に [CALL] ボタンを長押し（1秒）で動作させるか、短押しで動作させるかの設定です。

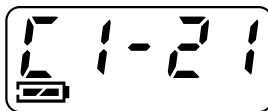
- **on** (on)：終話の際、[CALL] ボタンを長押し（1秒）です。
- **oF** (oF)：終話の際、[CALL] ボタンを短押しです。



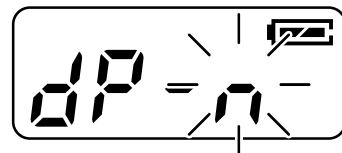
■反転表示設定

本機を胸ポケットなどに入れて、表示内容が見えにくい際、表示内容を180°回転させて、見やすくする機能です。

- **n** (n)：通常状態の表示です。
- **r** (r)：反転状態になります。



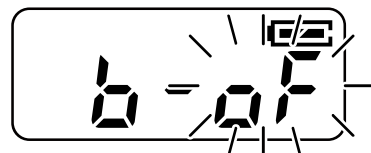
反転表示設定時の例



■バッテリー残量警告音設定

バッテリー残量が少なくなった場合に警告音を鳴らすかどうかの設定を行います。

- **oF** (oF)：バッテリー残量の警告音は鳴りません。
- **on** (on)：バッテリー残量の警告音が鳴ります。

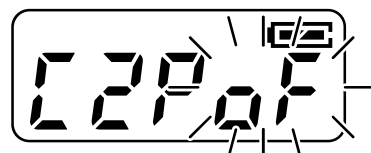


■HX826対向モード設定

子機モードに設定されているときに、通話相手の送信が停止すると子機の送信を停止するか否かの設定を行います。

※3者間通話、2者間通話の場合、子機側はHX826対向モードをオンにする必要があります。

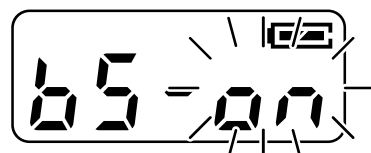
- **oF** (oF)：通話時に親機側から切断しても、子機側の送信は停止しません。
- **on** (on)：通話時に親機側から切断すると、子機側の送信は停止します。



■バッテリーセーブ設定

待ち受け受信時にバッテリーセーブの動作するか、しないかの設定を行います。

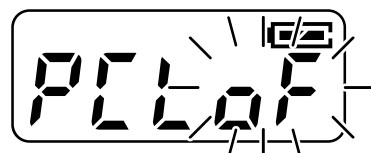
- **on** (on)：バッテリーセーブの動作をします。
- **oF** (oF)：バッテリーセーブの動作はしません。



■電源ON時自動接続設定

電源を入れた際に自動的に発呼し、通話の接続を行います。相手局が見つからない場合は待ち受けにまります。

- **oF** (oF)：本機能は設定されません。
- **on** (on)：電源を入れた際に自動的に一度発呼し、通話の接続を行います。

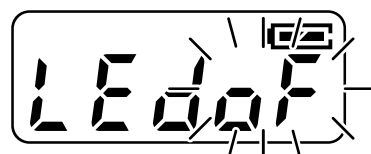


■通話中LED自動消灯設定

通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を通話開始後15秒で消灯します。

※自動通話方式、チャンネル選択方式では設定できません。

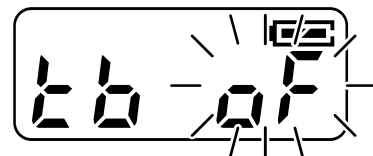
- **oF** (oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯します。
- **on** (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を通話開始後15秒で消灯します。



■トーンバースト設定

通話を切断した際に通話相手のスピーカーから一瞬出る「ザー」という不快なノイズを抑えられます。

- **oF** (oF)：トーンバーストの設定は無効です。
- **on** (on)：トーンバーストの設定は有効です。

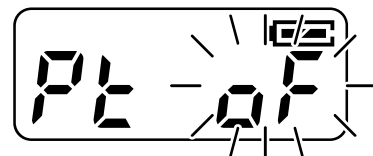


■親機連続送信設定 (R9020、RP848 設定用)

親機連続送信を設定します。この設定を R9020、RP848 へ、リモコンモードで設定します。

- **oF** (oF)：親機連続送の設定は無効です。
- **on** (on)：親機連続送の設定は有効です。

※親機モードを設定すると、この設定は表示されません。

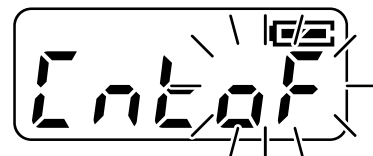


■連続送信設定

電源をオンにすると、自動的に送信を開始し停止できません。

- **oF** (oF)：連続送信の設定は無効です。
- **on** (on)：連続送信の設定は有効です。

※子機モードを設定すると、この設定は表示されません。

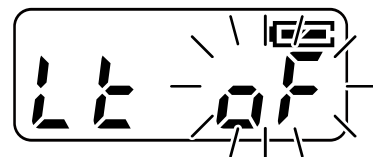


■通話圏外警告音設定

通話圏外警告音を設定します。

- 通話圏外警告音の設定は、親機連続送信がオンに設定されている時のみ設定できます。
- **oF** (oF)：通話圏外警告音の設定は無効です。
- **on** (on)：通話圏外警告音の設定は有効です。

※親機モードを設定すると、この設定は表示されません。

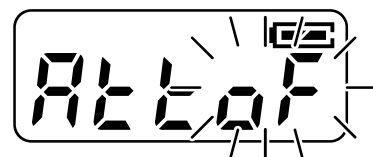


■親機アッテネータ設定 (R9020、RP848 設定用)

親機アッテネータ設定を設定します。この設定を R9020、RP848 へ、リモコンモードで設定します。

- **oF** (oF)：親機アッテネータの設定は無効です。
- **on** (on)：親機アッテネータの設定は有効です。

※親機モードを設定すると、この設定は表示されません。



ディーラー設定項目変更方法 (固定通話方式)

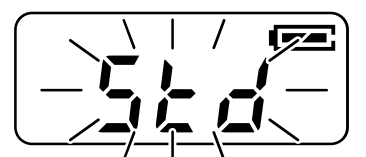
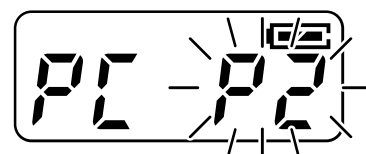
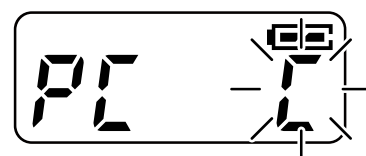
■親機モードの変更 (固定通話方式)

- 本機を作業連絡用の親機もしくは子機として設定することができます。
- C：子機モードを設定します。
- P2：親機モード (3 者間通話) を設定します。
- P1：親機モード (2 者間通話) を設定します。
- P2、P1：親機モードを設定すると、自動通話方式 (Auto) とチャンネル選択方式 (cSr) は、表示されません。

① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る

- 電源を切る前でのディーラー設定になります。

② [FUNC] と [－] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



③ [+] または [－] ボタンを押して、親機モードの設定内容を変更する

- 設定項目が初期数値に戻ると、報知音 (ピポ) が鳴ります。

④ 変更した親機モードの設定を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
- [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
- [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。

■通話方式の変更 (固定通話方式)

- 本機の通話方式を固定通話方式 (Std)、自動通話方式 (Auto) またはチャンネル選択方式 (cSr) に設定できます。
- システムの設定は、お使いになる機器に合わせて通話方式の変更をしてください。
固定通話方式 (Std) は、親機として R9020、RP848、HX826、HX827 をご使用時。
自動通話方式 (Auto) は、親機として R9020、RP848 をご使用時。
チャンネル選択方式 (cSr) は、親機として RP848 をご使用時。

① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る

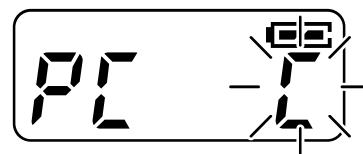
- 電源を切る前の通話での、ディーラー設定になります。

② [FUNC] と [-] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



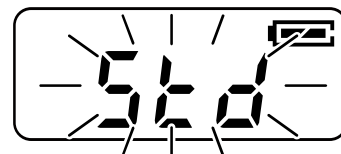
③ [FUNC] ボタンを押し、設定項目を選択する

- [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
- [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。



④ [+] または [-] ボタンを押して、通話方式：固定通話方式を選択する

- 設定項目が初期数値に戻ると、報知音 (ピポ) が鳴ります。

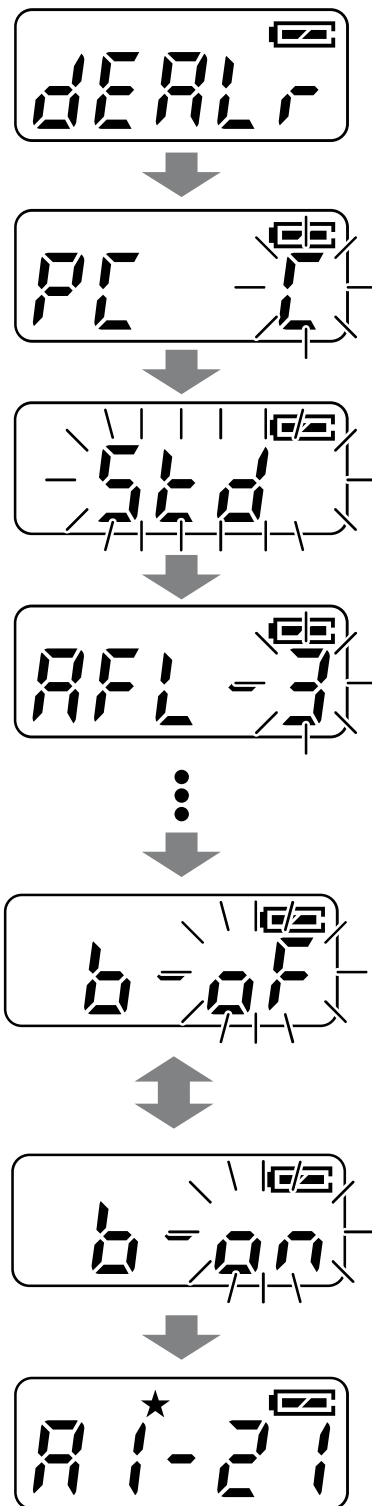


⑤ 変更した通話方式を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
- [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。

■ディーラー設定項目変更方法（固定通話方式）

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前の通話での、ディーラー設定になります。
- ② [FUNC] と [－] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる
- ③ [FUNC] ボタンを押し、設定項目を選択する
 - [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。
- ④ [+]
または [－] ボタンを押して、設定項目の設定内容を変更する
 - 設定項目が初期数値に戻ると、報知音（ピポ）が鳴ります。
- ⑤ 変更した設定を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。
 - バッテリー残量警告音を設定すると、システムメモリー設定（親機リモコンモード）が表示されます。
 - 設定項目および設定内容につきましては、「ディーラー設定項目一覧（Std：固定通話方式）」(P.38) をご覧ください。



■チャンネルプラン番号と子機番号の変更方法（固定通話方式）

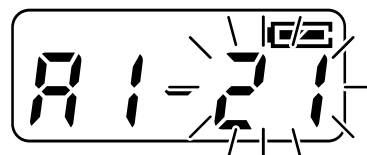
- チャンネルプラン番号は、以下の範囲で設定可能です。
21 ～ 29、2A ～ 2u、41 ～ 49、4A ～ 4u、81 ～ 89、8A ～ 8u。
- チャンネルプラン番号の詳細は、「チャンネルプラン番号／子機番号 周波数表」(P.53) をご覧ください。



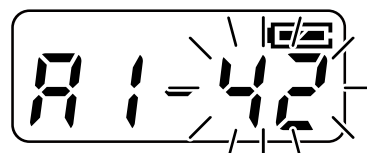
- ① 「ディーラー設定項目変更方法（固定通話方式）」(P.46)) の手順⑤まで終わらせた状態にする

- ② [FUNC] ボタンを押す

- システムメモリー設定中表示が消えます。
- チャンネルプラン番号が点滅し、チャンネルプラン番号を変更できるようになります。

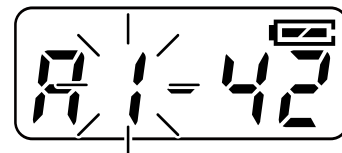


- ③ [+] または [-] ボタンを押して、チャンネルプラン番号を変更する

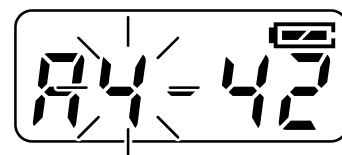


- ④ 変更したチャンネルプラン番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機番号が点滅し、子機番号を変更できるようになります。



- ⑤ [+] または [-] ボタンを押して、子機番号を変更する

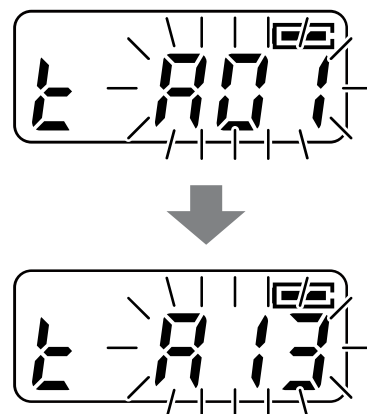


- ⑥ 変更した子機番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機番号を決定すると、送信トーン設定が表示されます。

■送信トーン番号の変更方法（固定通話方式）

- ① 「チャンネルプラン番号と子機番号の変更方法（固定通話方式）」(P.47) の手順⑥まで終わらせた状態にする
- ② [+] または [-] ボタンを押して、送信トーン番号を変更する
- ③ 変更した送信トーン番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - 送信トーン番号を決定すると受信トーン番号設定が表示されます。



■送信トーンのトーン番号と周波数

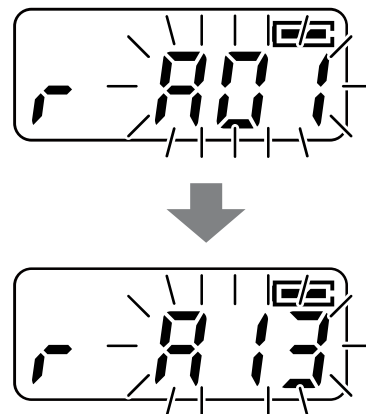
トーン番号	周波数 (Hz)	トーン番号	周波数 (Hz)
A01	107.2	b01	179.9
A02	114.8	b02	167.9
A03	123.0	b03	156.7
A04	131.8	b04	146.2
A05	141.3	b05	136.5
A06	151.4	b06	127.3
A07	162.2	b07	118.8
A08	173.8	b08	110.9
A09	186.2	b09	103.5
A10	203.5	b10	94.8
A11	218.1	b11	82.5
A12	233.6	b12	71.9
A13	250.3	b13	241.8
A14	67.0	b14	225.7
A15	77.0	b15	210.7
A16	88.5	b16	192.8
A17	100.0	L01	ランダムトーン 1
		L02	ランダムトーン 2
		L03	ランダムトーン 3
		L04	ランダムトーン 4
		L05	ランダムトーン 5
		non	トーン無し

ランダムトーン1～5を選択したときは、トーンは子機番号 1～8 に対してトーンが下記の通り設定されます。

トーン番号	子機 1TX	子機 2TX	子機 3TX	子機 4TX	子機 5TX	子機 6TX	子機 7TX	子機 8TX
L01	A17(100.0)	B08(110.9)	A03(123.0)	B05(136.5)	A06(151.4)	B02(167.9)	A09(186.2)	B15(210.7)
L02	B09(103.5)	A02(114.8)	B06(127.3)	A05(141.3)	B03(156.7)	A08(173.8)	B16(192.8)	A11(218.1)
L03	A01(107.2)	B07(118.8)	A04(131.8)	B04(146.2)	A07(162.2)	B01(179.9)	A10(203.5)	B14(225.7)
L04	A14(67.0)	A15(77.0)	B11(82.5)	A16(88.5)	B10(94.8)	A17(100.0)	A01(107.2)	A02(114.8)
L05	A06(151.4)	A07(162.2)	A08(173.8)	A09(186.2)	A10(203.5)	A11(218.1)	A12(233.6)	A13(250.3)

■受信トーン番号の変更方法（固定通話方式）

- ① 「送信トーン番号の変更方法（固定通話方式）」(P.48) の手順③まで終わらせた状態にする
- ② [+] または [-] ボタンを押して、受信トーン番号を変更する
- ③ 変更した受信トーン番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - 親機モード設定で、P2：親機モード（3者間通話）が設定されているときは、受信トーン設定（r2）が表示されます。
受信トーン設定（r2）を変更する際は、手順①～②を繰り返してください。



■受信トーンのトーン番号と周波数

トーン番号	周波数 (Hz)	トーン番号	周波数 (Hz)
A01	107.2	b01	179.9
A02	114.8	b02	167.9
A03	123.0	b03	156.7
A04	131.8	b04	146.2
A05	141.3	b05	136.5
A06	151.4	b06	127.3
A07	162.2	b07	118.8
A08	173.8	b08	110.9
A09	186.2	b09	103.5
A10	203.5	b10	94.8
A11	218.1	b11	82.5
A12	233.6	b12	71.9
A13	250.3	b13	241.8
A14	67.0	b14	225.7
A15	77.0	b15	210.7
A16	88.5	b16	192.8
A17	100.0	non	トーン無し

■システムメモリーの変更方法（固定通話方式）

本機の通話方式を固定通話方式の子機のモードに設定したときに、5種類のメモリー（A、b、c、d、E）を使用することができます。

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前の通話での、ディーラー設定になります。
- ② [FUNC] と [-] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる

- ③ [FUNC] ボタンを押し、通話方式：固定通話方式を選択する

- ④ [FUNC] ボタンを押し、システムメモリー設定を選択する

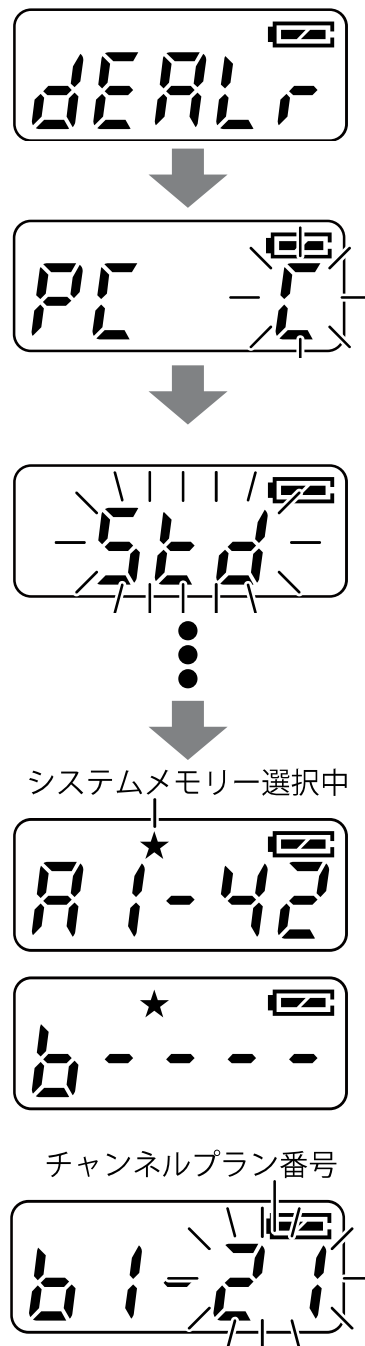
- 親機モードが設定されているときは、この設定は表示されません。

- ⑤ [+] または [-] ボタンを押して、システムメモリーを選択する

- 5種類のメモリー（A、b、c、d、E）から選択してください。

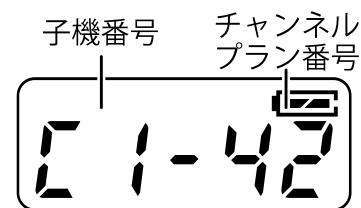
- ⑥ システムメモリーを設定するには、もう一度 [FUNC] ボタンを押す

- システムメモリー設定中表示「★」が消え、チャンネルプラン番号が変更できるようになります。
- 「チャンネルプラン番号と子機番号の変更方法（固定通話方式）」(P.47)、「送信トーン番号の変更方法（固定通話方式）」(P.48)、「受信トーン番号の変更方法（固定通話方式）」(P.49)をご覧ください。これらの設定は、全てシステムメモリー毎の設定となります。
- チャンネルプラン番号を「—」に設定すると設定内容を消去することができます。



■システムメモリーの運用方法（固定通話方式）

- ① 電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる

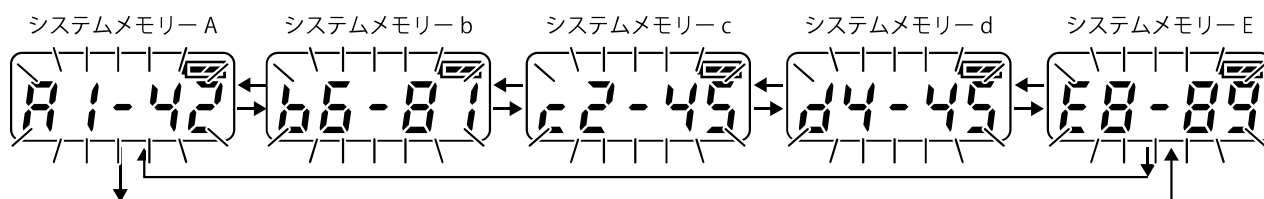


- ② [+] または [-] ボタンを2秒以上押して、システムメモリーの変更状態にする

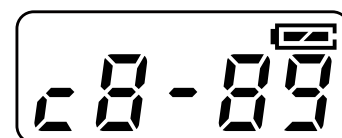
- 親機モードが設定されているときは、この設定は表示されません。



- ③ [+] または [-] ボタンを押して、システムメモリーを切り替える



- ④ 使用したいシステムメモリーを設定するには、[FUNC] ボタンを押す



■親機のリモコン設定方法（固定通話方式）

- ディーラー設定項目の内容を親機に送信して、親機の設定の内容を変更することができます。

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前の通話でのディーラー設定になります。
- ② [FUNC] と [-] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる
 - 子機モードに設定されているときのみ、親機のリモコン設定を行うことができます。

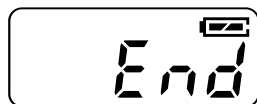
- ③ [FUNC] ボタンを押し、通話方式：固定通話方式を選択する
 - ディーラー設定項目の内容を運用に合わせて設定してください。

- ④ [FUNC] ボタンを押し、システムメモリー設定（親機リモコンモード）を選択する

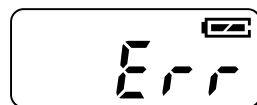
- ⑤ [CALL] ボタンを押す

- ⑥ 親機（R9020、RP848）の電源を入れる
 - 親機（R9020、RP848）は電源が入ると、9秒間リモコン受付状態になります。


- ⑦ もう一度 [CALL] ボタンを押し、ディーラー設定項目の内容を親機に送信して、親機の設定項目の内容を変更する
 - 親機の設定項目の内容を変更すると「End (End)」を表示します。



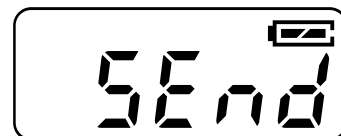
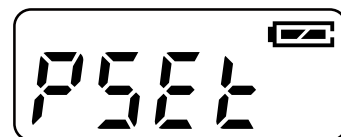
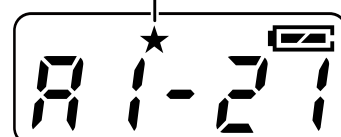
- 親機の設定項目の内容変更に失敗すると「Err (Err)」を表示します。



- [FUNC] ボタンを押すと、システムメモリー設定（親機リモコンモード）に戻ります。



システムメモリー選択中



チャンネルプラン番号／子機番号 周波数表

■1:8 システム周波数表

●標準周波数

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
8	1	454.0500	1	413.7000
			2	413.7250
			3	413.7625
			4	413.8500
			5	413.9625
			6	414.0375
			7	414.0875
			8	414.1250
	2	454.0625	1	413.7125
			2	413.7375
			3	413.7750
			4	413.8625
			5	413.9750
			6	414.0500
			7	414.1000
			8	414.1375
	3	454.0750	1	413.7000
			2	413.7375
			3	413.7875
			4	413.8625
			5	413.9750
			6	414.0625
			7	414.1000
			8	414.1250
	4	454.0875	1	413.7125
			2	413.7500
			3	413.8000
			4	413.8750
			5	413.9875
			6	414.0750
			7	414.1125
			8	414.1375
	5	454.1000	1	413.7000
			2	413.7250
			3	413.7625
			4	413.8500
			5	413.9625
			6	414.0375
			7	414.0875
			8	414.1250

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
8	6	454.1125	1	413.7125
			2	413.7375
			3	413.7750
			4	413.8625
			5	413.9750
			6	414.0500
			7	414.1000
			8	414.1375
	7	454.1250	1	413.7000
			2	413.7375
			3	413.7875
			4	413.8625
			5	413.9750
			6	414.0625
			7	414.1000
			8	414.1250
	8	454.1375	1	413.7125
			2	413.7500
			3	413.8000
			4	413.8750
			5	413.9875
			6	414.0750
			7	414.1125
			8	414.1375
	9	454.1500	1	413.7000
			2	413.7250
			3	413.7625
			4	413.8500
			5	413.9625
			6	414.0375
			7	414.0875
			8	414.1250
	A	454.1625	1	413.7125
			2	413.7375
			3	413.7750
			4	413.8625
			5	413.9750
			6	414.0500
			7	414.1000
			8	414.1375

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
8	b	454.1750	1	413.7000
			2	413.7375
			3	413.7875
			4	413.8625
			5	413.9750
			6	414.0625
			7	414.1000
			8	414.1250
	c	454.1875	1	413.7125
			2	413.7500
			3	413.8000
			4	413.8750
			5	413.9875
			6	414.0750
			7	414.1125
			8	414.1375

● インターリーヴ周波数

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
8	d	454.05625	1	413.70625
			2	413.73125
			3	413.76875
			4	413.85625
			5	413.96875
			6	414.04375
			7	414.09375
			8	414.13125
	E	454.06875	1	413.71875
			2	413.74375
			3	413.78125
			4	413.86875
			5	413.98125
			6	414.05625
			7	414.10625
			8	414.14375
	F	454.08125	1	413.70625
			2	413.74375
			3	413.79375
			4	413.86875
			5	413.98125
			6	414.06875
			7	414.10625
			8	414.13125
	h	454.09375	1	413.71875
			2	413.75625
			3	413.80625
			4	413.88125
			5	413.99375
			6	414.08125
			7	414.11875
			8	414.14375
	J	454.10625	1	413.70625
			2	413.73125
			3	413.76875
			4	413.85625
			5	413.96875
			6	414.04375
			7	414.09375
			8	414.13125
	L	454.11875	1	413.71875
			2	413.74375
			3	413.78125
			4	413.86875
			5	413.98125
			6	414.05625
			7	414.10625
			8	414.14375

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
8	n	454.13125	1	413.70625
			2	413.74375
			3	413.79375
			4	413.86875
			5	413.98125
			6	414.06875
			7	414.10625
			8	414.13125
	o	454.14375	1	413.71875
			2	413.75625
			3	413.80625
			4	413.88125
			5	413.99375
			6	414.08125
			7	414.11875
			8	414.14375
	P	454.15625	1	413.70625
			2	413.73125
			3	413.76875
			4	413.85625
			5	413.96875
			6	414.04375
			7	414.09375
			8	414.13125
	r	454.16875	1	413.71875
			2	413.74375
			3	413.78125
			4	413.86875
			5	413.98125
			6	414.05625
			7	414.10625
			8	414.14375
	t	454.18125	1	413.70625
			2	413.74375
			3	413.79375
			4	413.86875
			5	413.98125
			6	414.06875
			7	414.10625
			8	414.13125
	u	454.19375	1	413.71875
			2	413.75625
			3	413.80625
			4	413.88125
			5	413.99375
			6	414.08125
			7	414.11875
			8	414.14375

■1:4 システム周波数表

●標準周波数

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
4	1	454.0500	1	413.7000
			2	413.8000
			3	413.9125
			4	414.0375
	2	454.0625	1	413.7125
			2	413.8125
			3	413.9250
			4	414.0500
	3	454.0750	1	413.7250
			2	413.8250
			3	413.9375
			4	414.0625
	4	454.0875	1	413.7375
			2	413.8375
			3	413.9500
			4	414.0750
	5	454.1000	1	413.7500
			2	413.8500
			3	413.9625
			4	414.0875
	6	454.1125	1	413.7625
			2	413.8625
			3	413.9750
			4	414.1000
	7	454.1250	1	413.7750
			2	413.8750
			3	413.9875
			4	414.1125
	8	454.1375	1	413.7875
			2	413.8875
			3	414.0000
			4	414.1250
	9	454.1500	1	413.7000
			2	413.8000
			3	413.9125
			4	414.0375
	A	454.1625	1	413.7125
			2	413.8125
			3	413.9250
			4	414.0500
	b	454.1750	1	413.7250
			2	413.8250
			3	413.9375
			4	414.0625
	c	454.1875	1	413.7375
			2	413.8375
			3	413.9500
			4	414.0750

●インターリーヴ周波数

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
4	d	454.05625	1	413.70625
			2	413.80625
			3	413.91875
			4	414.04375
	E	454.06875	1	413.71875
			2	413.81875
			3	413.93125
			4	414.05625
	F	454.08125	1	413.73125
			2	413.83125
			3	413.94375
			4	414.06875
	h	454.09375	1	413.74375
			2	413.84375
			3	413.95625
			4	414.08125
	J	454.10625	1	413.75625
			2	413.85625
			3	413.96875
			4	414.09375
	L	454.11875	1	413.76875
			2	413.86875
			3	413.98125
			4	414.10625
	n	454.13125	1	413.78125
			2	413.88125
			3	413.99375
			4	414.11875
	o	454.14375	1	413.79375
			2	413.89375
			3	414.00625
			4	414.13125
	P	454.15625	1	413.70625
			2	413.80625
			3	413.91875
			4	414.04375
	r	454.16875	1	413.71875
			2	413.81875
			3	413.93125
			4	414.05625
	t	454.18125	1	413.73125
			2	413.83125
			3	413.94375
			4	414.06875
	u	454.19375	1	413.74375
			2	413.84375
			3	413.95625
			4	414.08125

■1:2 システム周波数表

● 標準周波数

チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
2	1	454.0500	1	413.7000
			2	413.8000
	2	454.0625	1	413.7125
			2	413.8125
	3	454.0750	1	413.7250
			2	413.8250
	4	454.0875	1	413.7375
			2	413.8375
	5	454.1000	1	413.7500
			2	413.8500
	6	454.1125	1	413.7625
			2	413.8625
	7	454.1250	1	413.7750
			2	413.8750
	8	454.1375	1	413.7875
			2	413.8875
	9	454.1500	1	413.9125
			2	414.0375
	A	454.1625	1	413.9250
			2	414.0500
	b	454.1750	1	413.9375
			2	414.0625
	c	454.1875	1	413.9500
			2	414.0750

● インターリーヴ周波数

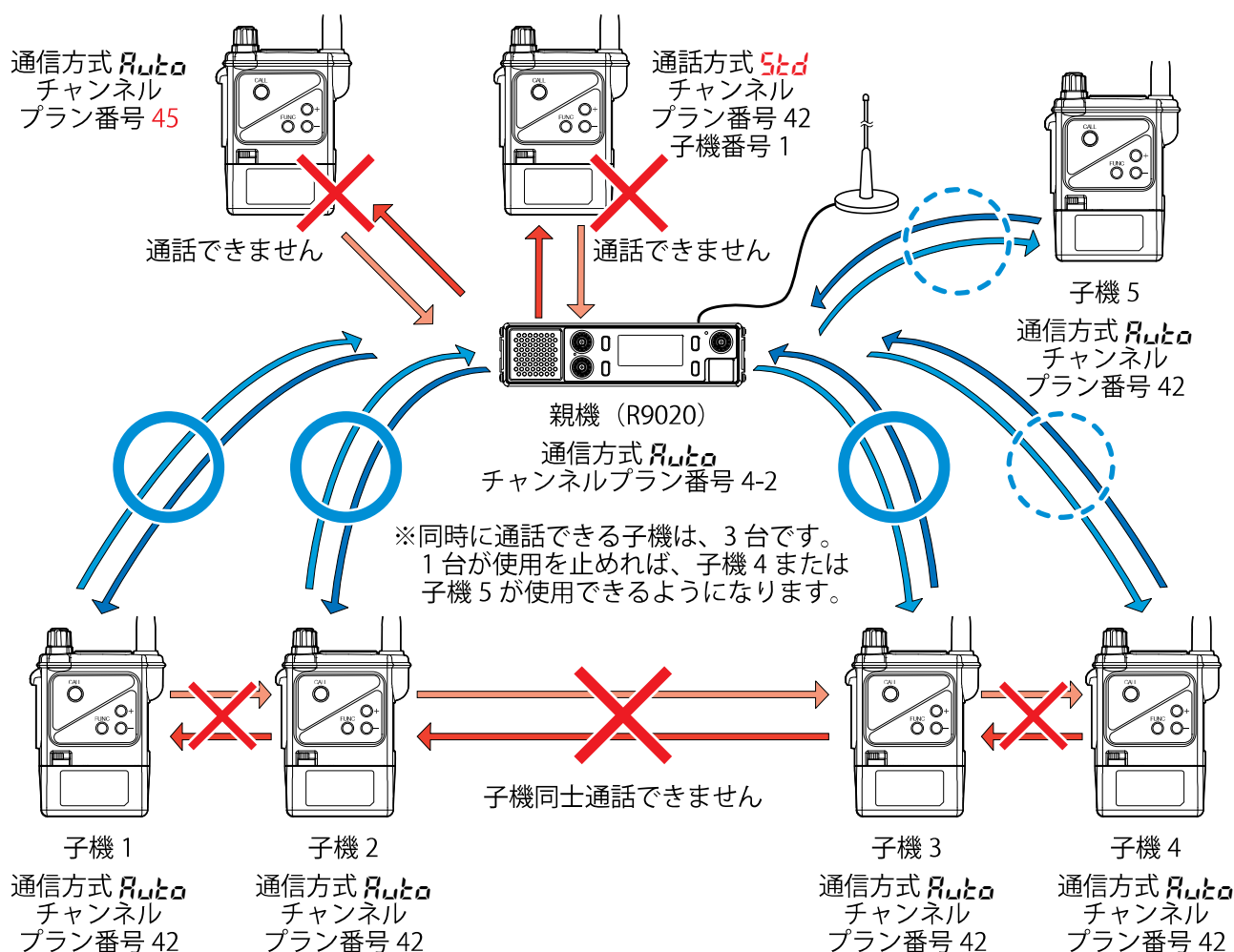
チャンネル プラン 番号		周波数		
		受信周波数 (MHz)	子機 番号	送信周波数 (MHz)
2	d	454.05625	1	413.70625
			2	413.80625
	E	454.06875	1	413.71875
			2	413.81875
	F	454.08125	1	413.73125
			2	413.83125
	h	454.09375	1	413.74375
			2	413.84375
	J	454.10625	1	413.75625
			2	413.85625
	L	454.11875	1	413.76875
			2	413.86875
	n	454.13125	1	413.78125
			2	413.88125
	o	454.14375	1	413.79375
			2	413.89375
	P	454.15625	1	413.91875
			2	414.04375
	r	454.16875	1	413.93125
			2	414.05625
	t	454.18125	1	413.94375
			2	414.06875
	u	454.19375	1	413.95625
			2	414.08125

自動通話方式について

- 自動通話方式では、親機から子機に空いているチャンネルを知らせ、子機はそのチャンネルを使って通話します。
自動通話方式では、親機から空いているチャンネルを子機に知らせるため、制御用として1チャンネルを専用で使用します。
そのため、同時に通話できる子機は、3台（親機：R9020の場合）、7台（親機：RP848の場合）です。
但し、空いているチャンネルを自動的に子機を割り当てていきますので、子機の台数は制限がなくなります。
- 自動通話方式では、本機を親機としては使用できません。

チャンネルプラン番号を42に設定した場合の通話例（自動通話方式）

- R9020（親機）を使用した場合、最大4者間（R9020を含む）通話が可能です。
送信と受信を同時に行いますので、通話相手の方が話しているのを聞きながら通話ができます。



ディラー設定項目一覧 (Auto：自動通話方式)

	表示例	項目	設定値	初期値
1	 C	親機モード	 (C)：子機モード	C
2		通話方式	 (Std)：固定通話方式  (Auto)：自動通話方式 (Auto)  (cSr)：チャンネル選択方式	Std
3	 -3	マイク感度	 (1)：-6dB (低感度)  (2)：-3dB  (3)：0dB (標準)  (4)：+3dB  (5)：+6dB (高感度)	3
4	 tG	PTT/トグル	 (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す  (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	tG
5	 on	終話時 CALL ボタン長押し	 (on)：終話の際に CALL ボタン長押し (1 秒)  (oF)：終話の際に CALL ボタン短押し	on
6	 -n	反転表示	 (n)：通常表示、  (r)：反転表示	n
7		バッテリー残量警告音	 (oF)：警告音オフ、  (on)：警告音オン	oF
8	 PSEt	親機リモコンモード	[CALL] ボタンの押下にて選択されたシステム設定を親機へ送信し、親機の設定を変更する	
9		チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	81
10	 A01	送信トーン	自動通話方式送信のトーンを設定	A01
11	 oF	通話圏外警告音	 (oF)：通話エリア外警告音設定の無効  (on)：通話エリア外警告音設定の有効	oF
12	 oF	通話中 LED 自動消灯	 (oF)：通話中の TX/BUSY ランプ常時赤点灯  (on)：通話中の TX/BUSY ランプ赤点灯を通話開始後 15 秒で消灯	oF
13	 oF	トーンバースト	 (oF)：トーンバースト機能の無効  (on)：トーンバースト機能の有効	oF
14	 oF	親機アッテネータ設定 (R9020、RP848 設定用)	 (oF)：親機アッテネー機能の無効  (on)：親機アッテネー機能の有効	oF

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

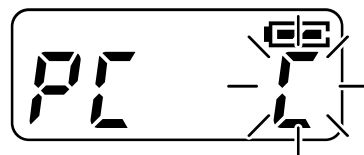
ディラー設定項目について（自動通話方式）

■親機モード設定

本機を作業連絡用の親機として設定することができます。

- ・**C** (C)：子機モードを設定します。

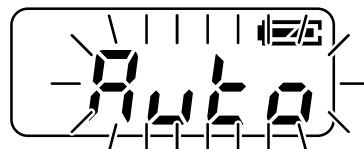
※P2、P1：親機モードを設定すると、自動通話方式 (Auto) とチャンネル選択方式 (cSr) は、表示されません。



■通話方式設定

本機の作業連絡用にて使用する通話方式を固定通話方式 (Std)、自動通話方式 (Auto) またはチャンネル選択方式 (cSr) に設定できます

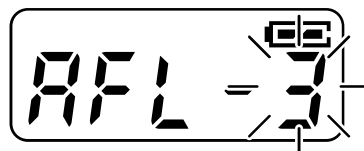
- ・**Std** (Std)：固定通話方式
- ・**Auto** (Auto)：自動通話方式 (Auto)
- ・**cSr** (cSr)：チャンネル選択方式



■マイク感度設定

周囲の環境に合わせてマイク感度を設定できます。マイク感度を上げると小さな声でも通話が可能です。周囲が静かなときにお使いください。マイク感度を下げると周囲の音が入りにくくなります。周囲がうるさいときにお使いください。

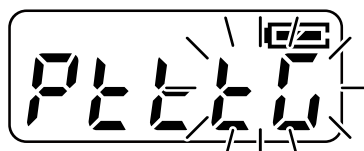
表示	マイク感度
1 (1)	-6dB (低感度)
2 (2)	-3dB
3 (3)	0dB (標準)
4 (4)	+3dB
5 (5)	+6dB (高感度)



■PTT/トグル設定

[CALL] ボタン押下時のみ送信するPTTとして機能するか、押下毎に送信、送信停止を繰り返すトグルとして機能するかを切り替えます。

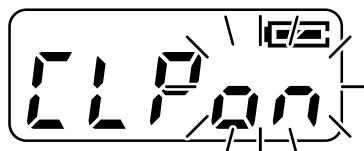
- ・**tG** (tG)：[CALL] ボタン押下時、トグルとして機能します。
- ・**Pt** (Pt)：[CALL] ボタン押下時、PTTとして機能します。



■終話時CALL ボタン長押し設定

終話の際に [CALL] ボタンを長押し（1 秒）で動作させるか、短押しで動作させるかの設定です。

- ・**on** (on)：終話の際、[CALL] ボタンを長押し（1 秒）です。
- ・**oF** (oF)：終話の際、[CALL] ボタンを短押しです。



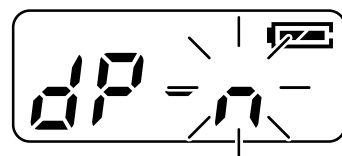
■反転表示設定

本機を胸ポケットなどに入れて、表示内容が見えにくい際、表示内容を180°回転させて、見やすくする機能です。

- **n** (n)：通常状態の表示です。
- **r** (r)：反転状態になります。



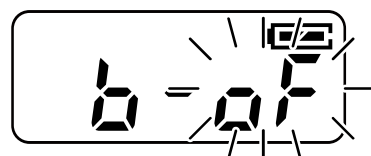
反転表示設定時の例



■バッテリー残量警告音設定

バッテリー残量が少なくなった場合に警告音を鳴らすかどうかの設定を行います。

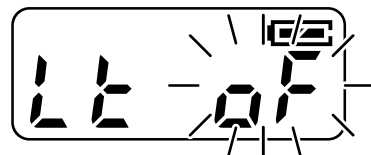
- **oF** (oF)：バッテリー残量の警告音は鳴りません。
- **on** (on)：バッテリー残量の警告音が鳴ります。



■通話圏外警告音設定

通話圏外警告音を設定します。

- 通話圏外警告音の設定は、親機連続送信がオンに設定されている時のみ設定できます。
- **oF** (oF)：通話圏外警告音の設定は無効です。
- **on** (on)：通話圏外警告音の設定は有効です。

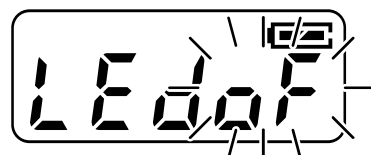


■通話中LED自動消灯設定

通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を通話開始後15秒で消灯します。

※自動通話方式、チャンネル選択方式では設定できません。

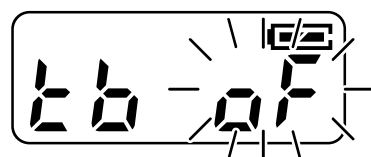
- **oF**：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯します。
- **on**：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を通話開始後15秒で消灯します。



■トーンバースト設定

通話を切断した際に通話相手のスピーカーから一瞬出る「ザー」という不快なノイズを抑えられます。

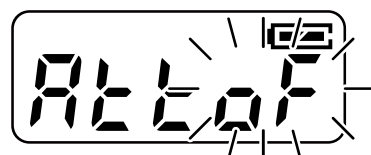
- **oF** (oF)：トーンバーストの設定は無効です。
- **on** (on)：トーンバーストの設定は有効です。



■親機アッテネータ設定 (R9020、RP848 設定用)

親機アッテネータ設定を設定します。この設定をR9020、RP848へ、リモコンモードで設定します。

- **oF** (oF)：親機アッテネータの設定は無効です。
- **on** (on)：親機アッテネータの設定は有効です。

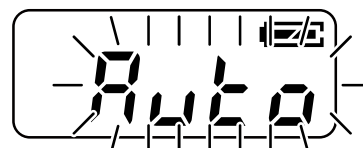
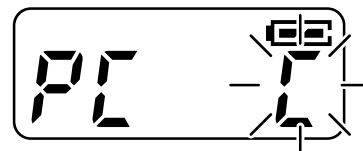
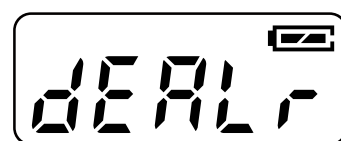


ディーラー設定項目変更方法（自動通話方式）

■通話方式の変更（自動通話方式）

- 本機の使用する通話方式を固定通話方式（Std）、自動通話方式（Auto）またはチャンネル選択方式（cSr）に設定できます。
- お使いになる機器に合わせて通話方式の変更をしてください。
固定通話方式（Std）は、親機としてR9020、RP848、HX826、HX827をご使用時。
自動通話方式（Auto）は、親機としてR9020、RP848をご使用時。
チャンネル選択方式（cSr）は、親機としてRP848をご使用時。

- 1 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前の通話での、ディーラー設定になります。
- 2 [FUNC] と [－] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



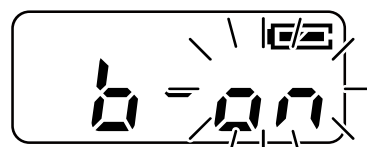
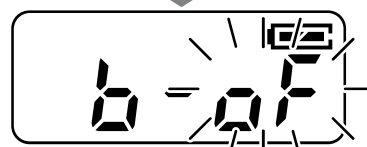
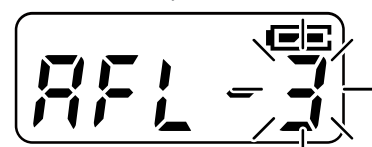
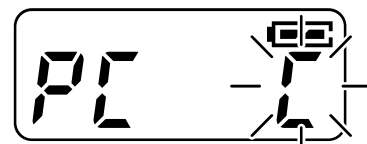
- 3 [FUNC] ボタンを押し、設定項目を選択する
 - [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。
- 4 [+] または [－] ボタンを押して、通話方式：自動通話方式を選択する
 - 設定項目が初期数値に戻ると、報知音（ピポ）が鳴ります。



- 5 変更した通話方式を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。
 - 設定項目および設定内容につきましては、「ディーラー設定項目一覧（Auto：自動通話方式）」（P.59）をご覧ください。

■ディーラー設定項目変更方法（自動通話方式）

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前のディーラー設定になります。
- ② [FUNC] と [－] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



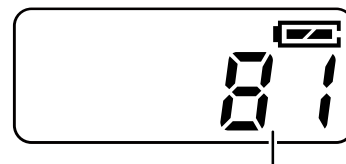
- ③ [FUNC] ボタンを押し、設定項目を選択する
 - [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。

- ④ [+] または [－] ボタンを押して、設定項目の設定内容を変更する
 - 設定項目が初期数値に戻ると、報知音 (ピポ) が鳴ります。

- ⑤ 変更した設定を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。
 - バッテリー残量警告音を設定すると、親機リモコンモードが表示されます。
 - 設定項目および設定内容につきましては、「ディーラー設定項目一覧 (Auto：自動通話方式)」(P.59) をご覧ください。

■チャンネルプラン番号の変更方法（自動通話方式）

- チャンネルプラン番号は、以下の範囲で設定可能です。
21 ～ 29、2A ～ 2u、41 ～ 49、4A ～ 4u、81 ～ 89、8A ～ 8u。
- チャンネルプラン番号の詳細は、「チャンネルプラン番号／子機番号
周波数表」(P.53) をご覧ください。

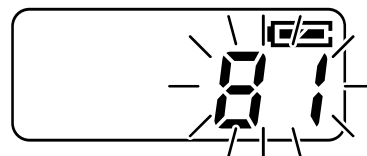


チャンネルプラン番号

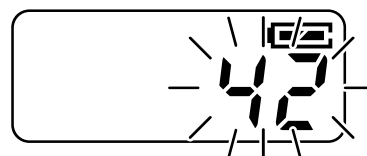
- 1 「ディーラー設定項目変更方法（自動通話方式）」(P.63) の手順 5 まで終わらせた状態にする

- 2 [FUNC] ボタンを押す

- チャンネルプラン番号が点滅し、チャンネルプラン番号を変更できるようになります。



- 3 [+] または [-] ボタンを押して、チャンネルプラン番号を変更する

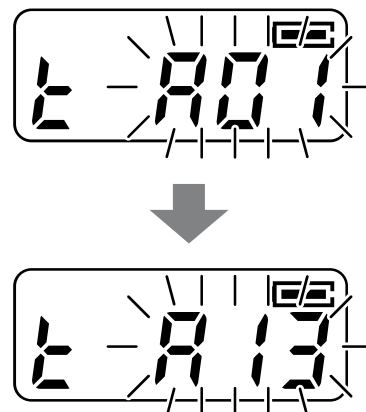


- 4 変更したチャンネルプラン番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- チャンネルプラン番号を決定すると、送信トーン設定が表示されます。

■送信トーン番号の変更方法（自動通話方式）

- ① 「チャンネルプラン番号の変更方法（自動通話方式）」(P.64) の手順④まで終わらせた状態にする
- ② [+] または [-] ボタンを押して、送信トーン番号を変更する
- ③ 変更した送信トーン番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - 受信トーン番号は送信トーン番号と共通になります。



■送信トーンのトーン番号と周波数

トーン番号	周波数 (Hz)	トーン番号	周波数 (Hz)
A-01	107.2	B-01	179.9
A-02	114.8	B-02	167.9
A-03	123.0	B-03	156.7
A-04	131.8	B-04	146.2
A-05	141.3	B-05	136.5
A-06	151.4	B-06	127.3
A-07	162.2	B-07	118.8
A-08	173.8	B-08	110.9
A-09	186.2	B-09	103.5
A-10	203.5	B-10	94.8
A-11	218.1	B-11	82.5
A-12	233.6	B-12	71.9
A-13	250.3	B-13	241.8
A-14	67.0	B-14	225.7
A-15	77.0	B-15	210.7
A-16	88.5	B-16	192.8
A-17	100.0	L-01	ランダムトーン 1
		L-02	ランダムトーン 2
		L-03	ランダムトーン 3
		L-04	ランダムトーン 4
		L-05	ランダムトーン 5
		non	トーン無し

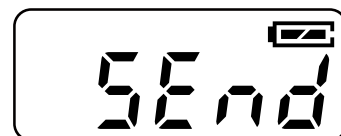
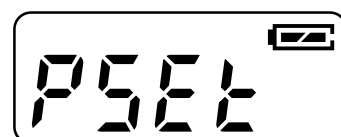
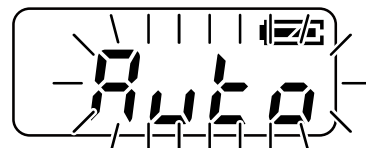
ランダムトーン1～5を選択したときは、トーンは子機番号1～8に対してトーンが下記の通り設定されます。

トーン番号	子機 1TX	子機 2TX	子機 3TX	子機 4TX	子機 5TX	子機 6TX	子機 7TX	子機 8TX
L01	A17(100.0)	B08(110.9)	A03(123.0)	B05(136.5)	A06(151.4)	B02(167.9)	A09(186.2)	B15(210.7)
L02	B09(103.5)	A02(114.8)	B06(127.3)	A05(141.3)	B03(156.7)	A08(173.8)	B16(192.8)	A11(218.1)
L03	A01(107.2)	B07(118.8)	A04(131.8)	B04(146.2)	A07(162.2)	B01(179.9)	A10(203.5)	B14(225.7)
L04	A14(67.0)	A15(77.0)	B11(82.5)	A16(88.5)	B10(94.8)	A17(100.0)	A01(107.2)	A02(114.8)
L05	A06(151.4)	A07(162.2)	A08(173.8)	A09(186.2)	A10(203.5)	A11(218.1)	A12(233.6)	A13(250.3)

■親機リモコンモードの変更方法（自動通話方式）

- ディーラー設定項目の内容を親機に送信して、親機の設定の内容を変更することができます。

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前でのディーラー設定になります。
- ② [FUNC] と [－] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



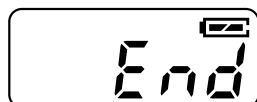
- ③ [FUNC] ボタンを押し、通話方式：自動通話方式を選択する
 - ディーラー設定項目の内容を運用に合わせて設定してください。

- ④ [FUNC] ボタンを押し、親機リモコンモードを選択する

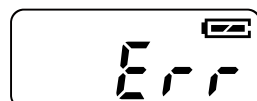
- ⑤ [CALL] ボタンを押す

- ⑥ 親機（R9020、RP848）の電源を入れる
 - 親機（R9020、RP848）は電源が入ると、9秒間リモコン受付状態になります。

- ⑦ もう一度 [CALL] ボタンを押し、ユーザー設定項目、ディーラー設定項目の内容を親機に送信して、親機の設定項目の内容を変更する
 - 親機の設定項目の内容を変更すると「End (End)」を表示します。



- 親機の設定項目の内容変更失敗すると「Err (Err)」を表示します。



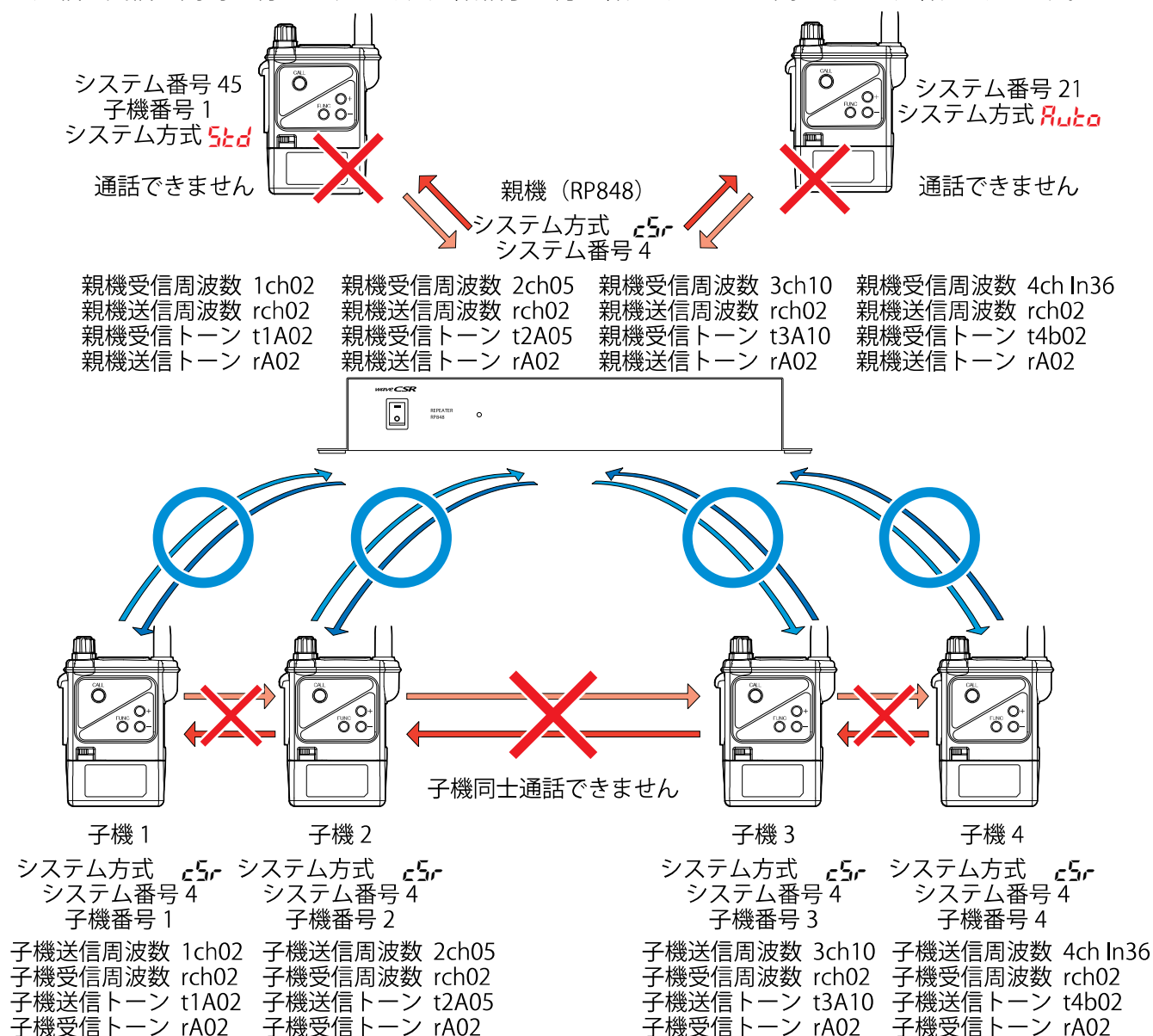
- [FUNC] ボタンを押すと、親機リモコンモードに戻ります。

チャンネル選択方式について

- 本機の送信周波数、受信周波数、送信トーン、受信トーンを各々設定することができます。
- 選択する周波数の組み合わせによっては、運用できない場合がありますので、事前に十分確認を行ってください。運用に関しては、お買い上げの販売店またはCSR カスタマーサポートへお問い合わせください。
- RP848（親機）と子機は同一のチャンネル番号で通話を行います。チャンネル番号が異なっていると通話できません。
- システム番号は、2・4・8と3種類あります。
 システム番号2の設定は親機（RP848）*を使用した場合、最大3者間通話が可能です。
 システム番号4の設定は親機（RP848）*を使用した場合、最大5者間通話が可能です。
 システム番号8の設定は親機（RP848）*を使用した場合、最大9者間通話が可能です。
 システム番号8の設定は親機（RP848）*を2台使用した場合、最大17者間通話が可能です。
 ※上記のシステム番号8の設定は、親機RP848とCX848との組み合わせでの使用です。
- チャンネル選択方式の設定は、「ディーラー設定項目一覧（cSr：チャンネル選択方式）」（P.68）をご覧ください。

システムを4に設定した場合の通話例

- RP848（親機）を使用した場合、最大9者間通話が可能です。
 送信と受信を同時に行いますので、通話相手の方が話しているのを聞きながら通話ができます。



ディラー設定項目一覧 (cSr：チャンネル選択方式)

	表示例	項目	設定値	初期値
1	PC C	親機モード	C (C)：子機モード	C
2	cSr	通話方式	Std(Std)：固定通話方式 Auto(Auto)：自動通話方式 (Auto) cSr(cSr)：チャンネル選択方式	Std
3	AFL-3	マイク感度	1 (1)：-6dB (低感度) 2 (2)：-3dB 3 (3)：0dB (標準) 4 (4)：+3dB 5 (5)：+6dB (高感度)	3
4	PtG	PTT/トグル	tG (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信 停止を繰り返す Pt (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	tG
5	CLPon	終話時CALL ボタン長押し	on (on)：終話の際にCALL ボタン長押し (1 秒) oF(oF)：終話の際にCALL ボタン短押し	on
6	dP-n	反転表示	n (n)：通常表示、r (r)：反転表示	n
7	b-oF	バッテリー残量警告音	oF(oF)：警告音オフ、on (on)：警告音オン	oF
8	1-8-	親機リモコンモード	[CALL] ボタンの押下にて選択されたシステム 設定を親機へ送信し、親機の設定を変更する	
9	1-8-	システム番号	システム番号を設定	8
10	1'-8-	子機番号	子機番号を設定	1
11	1ch01 : 8ch01	子機送信周波数	チャンネル選択方式の子機送信周波数の1～ 8を設定 ※システム番号の数の設定が必要 2：2チャンネル 4：4チャンネル 8：8チャンネル	ch01
12	rch01	子機受信周波数	チャンネル選択方式の子機受信周波数を設定	ch01
13	t1A01 : t8A01	子機送信トーン	チャンネル選択方式の子機送信トーンの1～ 8を設定 ※システム番号の数の設定が必要 2：2チャンネル 4：4チャンネル 8：8チャンネル	A01
14	rA01	子機受信トーン	チャンネル選択方式の子機受信トーンを設定	A01
15	bS-on	バッテリーセーブ	on (on)：バッテリーセーブオン oF(oF)：バッテリーセーブオフ	on
16	PCLoF	電源ON時自動接続	oF (oF)：電源ON時自動接続オフ on (on)：電源ON時自動接続オン	oF
17	LEdoF	通話中LED自動消灯	oF (oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯 on (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を 通話開始後 15 秒 で消灯	oF

	表示例	項目	設定値	初期値
18	tb of	トーンバースト	of(of)：トーンバースト機能の無効 on(on)：トーンバースト機能の有効	of
19	pt of	親機連続送信 (RP848 設定用)	of(of)：親機連続送信機能の無効 on(on)：親機連続送信機能の有効	of
20	lt of	通話圏外警告音	of(of)：通話エリア外警告音設定の無効 on(on)：通話エリア外警告音設定の有効	of
21	Att of	親機アッテネータ設定 (RP848 設定用)	of(of)：親機アッテネー機能の無効 on(on)：親機アッテネー機能の有効	of

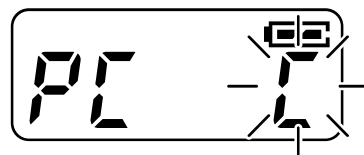
- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

ディーラー設定項目について (チャンネル選択方式)

■親機モード設定

本機を作業連絡用の親機として設定することができます。

- ・**C** (C) : 子機モードを設定します。
- ※P2、P1 : 親機モードを設定すると、自動通話方式 (Auto) とチャンネル選択方式 (cSr) は、表示されません。



■通話方式設定

本機の使用する通話方式を固定通話方式 (Std)、自動通話方式 (Auto) またはチャンネル選択方式 (cSr) に設定できます。

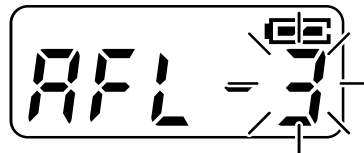
- ・**Std** (Std) : 固定通話方式
- ・**Auto** (Auto) : 自動通話方式 (Auto)
- ・**cSr** (cSr) : チャンネル選択方式



■マイク感度設定

周囲の環境に合わせてマイク感度を設定できます。マイク感度を上げると小さな声でも通話が可能です。周囲が静かなときにお使いください。マイク感度を下げると周囲の音が入りにくくなります。周囲がうるさいときにお使いください。

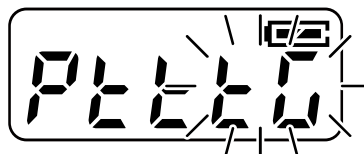
表示	マイク感度
1 (1)	-6dB (低感度)
2 (2)	-3dB
3 (3)	0dB (標準)
4 (4)	+3dB
5 (5)	+6dB (高感度)



■PTT/トグル設定

[CALL] ボタン押下時のみ送信するPTTとして機能するか、押下毎に送信、送信停止を繰り返すトグルとして機能するかを切り替えます。

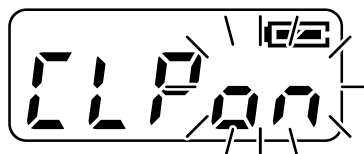
- ・**tG** (tG) : [CALL] ボタン押下時、トグルとして機能します。
- ・**Pt** (Pt) : [CALL] ボタン押下時、PTTとして機能します。



■終話時CALL ボタン長押し設定

終話の際に [CALL] ボタンを長押し (1 秒) で動作させるか、短押しで動作させるかの設定です。

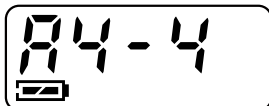
- ・**on** (on) : 終話の際、[CALL] ボタンを長押し (1 秒) です。
- ・**oF** (oF) : 終話の際、[CALL] ボタンを短押しです。



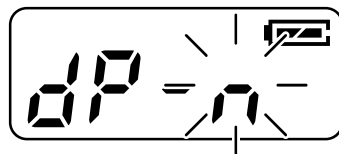
■反転表示設定

本機を胸ポケットなどに入れて、表示内容が見えにくい際、表示内容を180°回転させて、見やすくする機能です。

- ・**n** (n) : 通常状態の表示です。
- ・**r** (r) : 反転状態になります。



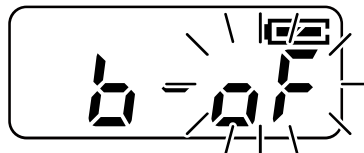
反転表示設定時の例



■バッテリー残量警告音設定

バッテリー残量が少なくなった場合に警告音を鳴らすかどうかの設定を行います。

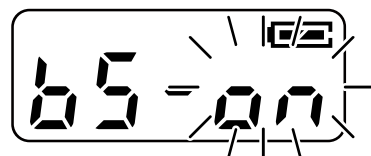
- ・**oF** (oF) : バッテリー残量の警告音は鳴りません。
- ・**on** (on) : バッテリー残量の警告音が鳴ります。



■バッテリーセーブ設定

待ち受け受信時にバッテリーセーブの動作するか、しないかの設定を行います。

- **on** (on) : バッテリーセーブの動作をします。
- **oF** (oF) : バッテリーセーブの動作はしません。



■電源ON時自動接続設定

電源を入れた際に自動的に発呼し、通話の接続を行います。その際、相手局が見つからない場合は待ち受けにまります。

- **oF** (oF) : 本機能は設定されません。
- **on** (on) : 電源を入れた際に自動的に一度発呼し、通話の接続を行います。



■通話中LED自動消灯設定

通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を通話開始後 15 秒で消灯します。

※自動通話方式、チャンネル選択方式では設定できません。

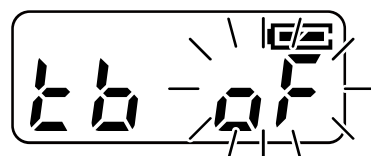
- **oF** : 通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯します。
- **on** : 通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を通話開始後 15 秒で消灯します。



■トーンバースト設定

通話を切断した際に通話相手のスピーカーから一瞬出る「ザー」という不快なノイズを抑えられます。

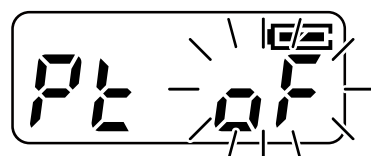
- **oF** (oF) : トーンバーストの設定は無効です。
- **on** (on) : トーンバーストの設定は有効です。



■親機連続送信設定 (RP848 設定用)

親機連続送信を設定します。この設定を RP848 へ、リモコンモードで設定します。

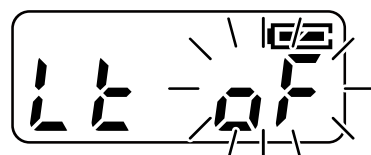
- **oF** (oF) : 親機連続送の設定は無効です。
- **on** (on) : 親機連続送の設定は有効です。



■通話圏外警告音設定

通話圏外警告音を設定します。

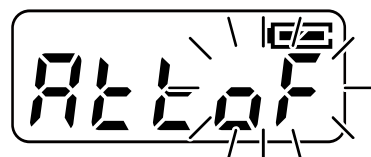
- 通話圏外警告音の設定は、親機連続送信がオンに設定されている時のみ設定できます。
- **oF** (oF) : 通話圏外警告音の設定は無効です。
- **on** (on) : 通話圏外警告音の設定は有効です。



■親機アッテネータ設定 (RP848 設定用)

親機アッテネータ設定を設定します。この設定を RP848 へ、リモコンモードで設定します。

- **oF** (oF) : 親機アッテネータの設定は無効です。
- **on** (on) : 親機アッテネータの設定は有効です。



ディーラー設定項目変更方法 (チャンネル選択方式)

■通話方式の変更 (チャンネル選択方式)

- 本機の使用する通話方式を固定通話方式 (Std)、自動通話方式 (Auto) またはチャンネル選択方式 (cSr) に設定できます。
- システムの設定は、お使いになる機器に合わせて通話方式の変更をしてください。
固定通話方式 (Std) は、親機として R9020、RP848、HX826、HX827 をご使用時。
自動通話方式 (Auto) は、親機として R9020、RP848 をご使用時。
チャンネル選択方式 (cSr) は、親機として RP848 をご使用時。

① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る

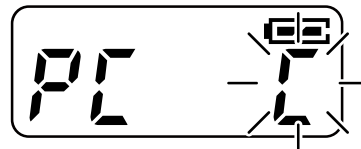
- 電源を切る前の通話での、ディーラー設定になります。

② [FUNC] と [-] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



③ [FUNC] ボタンを押し、設定項目を選択する

- [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
- [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。



④ [+] または [-] ボタンを押して、通話方式：チャンネル選択方式を選択する

- 設定項目が初期数値に戻ると、報知音 (ピポ) が鳴ります。



⑤ 変更した通話方式を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
- [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。

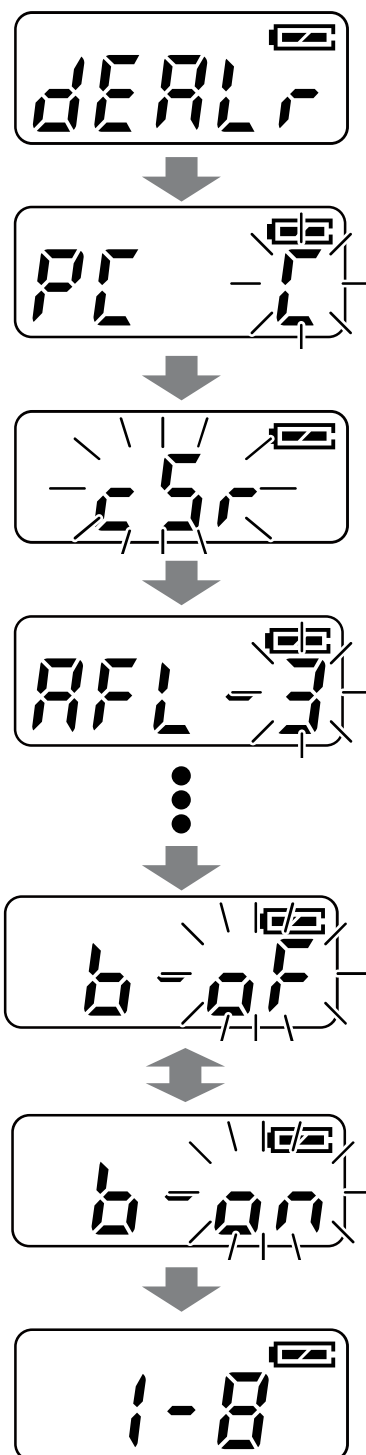
■ディーラー設定項目変更方法（チャンネル選択方式）

- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前の通話での、ディーラー設定になります。
- ② [FUNC] と [－] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる

- ③ [FUNC] ボタンを押し、設定項目を選択する
 - [FUNC] ボタンを押す度に設定項目が切り替わります。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。

- ④ [+] または [－] ボタンを押して、設定項目の設定内容を変更する
 - 設定項目が初期数値に戻ると、報知音（ピポ）が鳴ります。

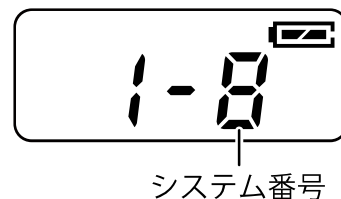
- ⑤ 変更した設定を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - [FUNC] ボタンを押すと設定内容が決定され、次の項目が表示されます。
 - [CALL] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押すと前設定項目に戻ります。
 - バッテリー残量警告音を設定すると、親機リモコンモードが表示されます。
 - 設定項目および設定内容につきましては、「ディーラー設定項目一覧（cSr：チャンネル選択方式）」(P.68) をご覧ください。



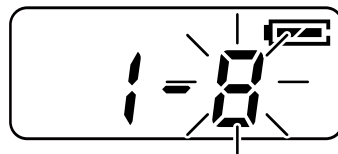
■システム番号と子機番号の変更方法（チャンネル選択方式）

- システム番号は、2・4・8の3種類あります。

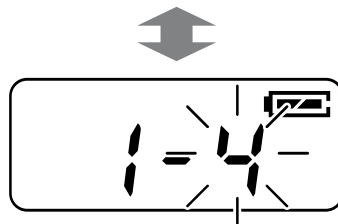
- ① 「ディーラー設定項目変更方法（チャンネル選択方式）」(P.73 ～ P.74) の手順⑤まで終わらせた状態にする



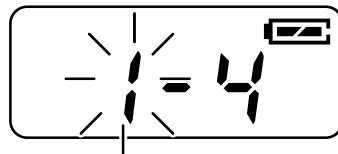
- ② [FUNC] ボタンを押す
 - システム番号が点滅し、システム番号を変更できるようになります。



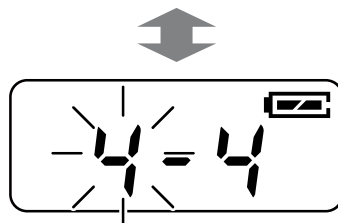
- ③ [+] または [-] ボタンを押して、システム番号を変更する



- ④ 変更したシステム番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - 子機番号が点滅し、子機番号を変更できるようになります。



- ⑤ [+] または [-] ボタンを押して、子機番号を変更する



- ⑥ 変更した子機番号を決定するには、[FUNC] ボタンを押す
 - 子機番号を決定すると、子機送信周波数（子機1）設定が表示されます。

■子機送信周波数の変更方法（チャンネル選択方式）

- システム番号2の設定は、子機1の送信周波数～子機2の送信周波数の設定を行います。
- システム番号4の設定は、子機1の送信周波数～子機4の送信周波数の設定を行います。
- システム番号8の設定は、子機1の送信周波数～子機8の送信周波数の設定を行います。

① 「システム番号と子機番号の変更方法（チャンネル選択方式）」(P.74) の手順⑥まで終わらせた状態にする

② [+] または [-] ボタンを押して、子機1の送信周波数を変更する

③ 変更した子機1の送信周波数を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機2の送信周波数設定が表示されます。
- 子機送信周波数の詳細は、「周波数表」(P.80) をご覧ください。

④ [+] または [-] ボタンを押して、子機2の送信周波数を変更する

⑤ 変更した子機2の送信周波数を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機3の送信周波数設定が表示されます。

⑥ [+] または [-] ボタンを押して、子機3の送信周波数を変更する

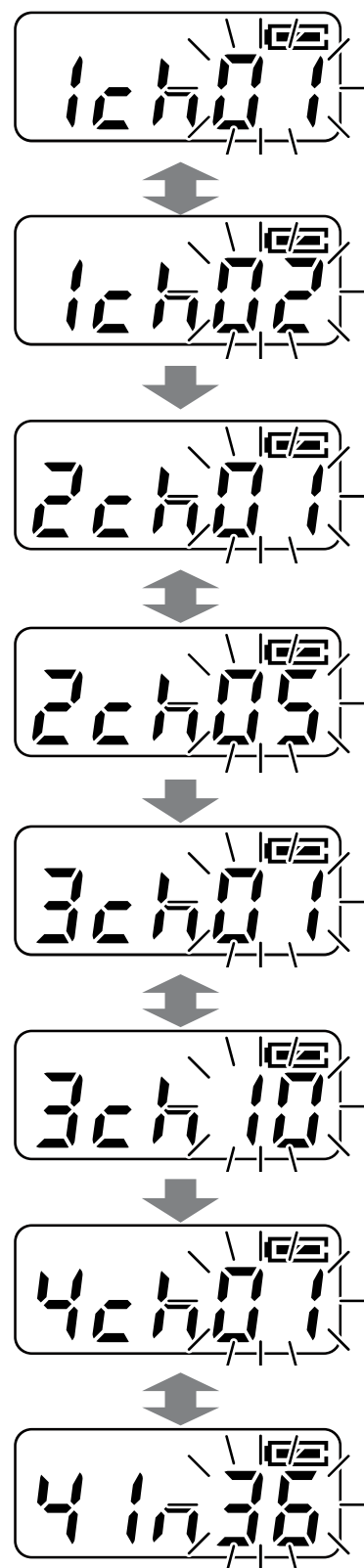
⑦ 変更した子機3の送信周波数を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機4の送信周波数設定が表示されます。

⑧ [+] または [-] ボタンを押して、子機4の送信周波数を変更する

⑨ 変更した子機4の送信周波数を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機受信周波数の設定が表示されます。

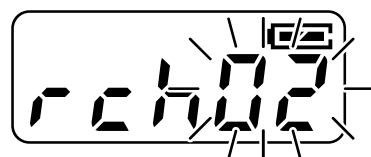
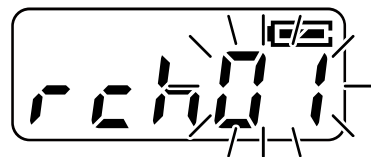


■子機受信周波数の変更方法（チャンネル選択方式）

- 子機受信周波数は、全子機共通となります。

① 「子機送信周波数の変更方法（チャンネル選択方式）」(P.75) の手順⑨まで終わらせた状態にする

② [+] または [-] ボタンを押して、子機受信周波数（を）変更する



③ 変更した子機受信周波数を決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機1の送信トーン設定が表示されます。
- 子機受信周波数の詳細は、「周波数表」(P.80) をご覧ください。

■子機送信トーンの変更方法（チャンネル選択方式）

- システム番号2の設定は、子機1の送信トーン～子機2の送信トーンの設定を行います。
- システム番号4の設定は、子機1の送信トーン～子機4の送信トーンの設定を行います。
- システム番号8の設定は、子機1の送信トーン～子機8の送信トーンの設定を行います。

① 「子機受信周波数の変更方法（チャンネル選択方式）」(P.76) の手順③まで終わらせた状態にする

② [+] または [-] ボタンを押して、子機1の送信トーンを変更する



③ 変更した子機1の送信トーンを決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機2の送信トーン設定が表示されます。
- 子機送信トーンの詳細は、「周波数表」(P.80) をご覧ください。



④ [+] または [-] ボタンを押して、子機2の送信トーンを変更する



⑤ 変更した子機2の送信トーンを決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機3の送信トーン設定が表示されます。



⑥ [+] または [-] ボタンを押して、子機3の送信トーンを変更する



⑦ 変更した子機3の送信トーンを決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機4の送信トーン設定が表示されます。

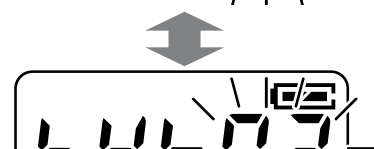


⑧ [+] または [-] ボタンを押して、子機4の送信トーンを変更する



⑨ 変更した子機4の送信トーンを決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機受信トーンの設定が表示されます。



■子機受信トーンの変更方法（チャンネル選択方式）

- 子機受信トーンは、全子機共通となります。

① 「子機送信トーンの変更方法（チャンネル選択方式）」(P.77) の手順⑨まで終わらせた状態にする

② [+] または [-] ボタンを押して、子機受信トーンを変更する



③ 変更した子機受信トーンを決定するには、[FUNC] ボタンを押す

- 子機送信トーンの詳細は、「周波数表」(P.80) をご覧ください。
ご覧ください。



■親機リモコンモードの変更方法（チャンネル選択方式）

- ディーラー設定項目の内容を親機に送信して、親機の設定項目の内容を変更することができます。

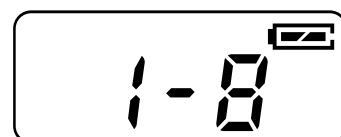
- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回し電源を切る
 - 電源を切る前の通話でのディーラー設定になります。
- ② [FUNC] と [-] ボタンを押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回し電源を入れる



- ③ [FUNC] ボタンを押し、通話方式：チャンネル選択方式を選択する
 - ディーラー設定項目の内容を運用に合わせて設定してください。

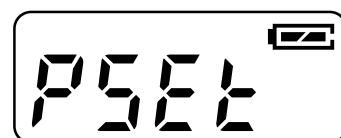


- ④ [FUNC] ボタンを押し、親機リモコンモードを選択する

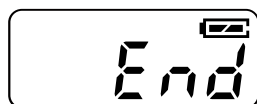


- ⑤ [CALL] ボタンを押す

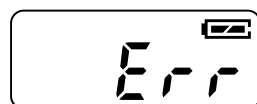
- ⑥ 親機 (RP848) の電源を入れる
 - 親機 (RP848) は電源が入ると、9秒間リモコン受付状態になります。



- ⑦ もう一度 [CALL] ボタンを押し、ディーラー設定項目の内容を親機に送信して、親機の設定項目の内容を変更する
 - 親機の設定項目の内容を変更すると「End (End)」を表示します。



- 親機の設定項目の内容変更失敗すると「Err (Err)」を表示します。



- [FUNC] ボタンを押すと、親機リモコンモードに戻ります。

周波数表

■標準送信周波数

HX826 送信チャンネル	HX826 送信周波数 (MHz)
ch01	413.7000
ch02	413.7125
ch03	413.7250
ch04	413.7375
ch05	413.7500
ch06	413.7625
ch07	413.7750
ch08	413.7875
ch09	413.8000
ch10	413.8125
ch11	413.8250
ch12	413.8375
ch13	413.8500
ch14	413.8625
ch15	413.8750
ch16	413.8875
ch17	413.9000
ch18	413.9125
ch19	413.9250
ch20	413.9375
ch21	413.9500
ch22	413.9625
ch23	413.9750
ch24	413.9875
ch25	414.0000
ch26	414.0125
ch27	414.0250
ch28	414.0375
ch29	414.0500
ch30	414.0625
ch31	414.0750
ch32	414.0875
ch33	414.1000
ch34	414.1125
ch35	414.1250
ch36	414.1375

■インターリーブ送信周波数

HX826 送信チャンネル	HX826 送信周波数 (MHz)
ln01	413.70625
ln02	413.71875
ln03	413.73125
ln04	413.74375
ln05	413.75625
ln06	413.76875
ln07	413.78125
ln08	413.79375
ln09	413.80625
ln10	413.81875
ln11	413.83125
ln12	413.84375
ln13	413.85625
ln14	413.86875
ln15	413.88125
ln16	413.89375
ln17	413.90625
ln18	413.91875
ln19	413.93125
ln20	413.94375
ln21	413.95625
ln22	413.96875
ln23	413.98125
ln24	413.99375
ln25	414.00625
ln26	414.01875
ln27	414.03125
ln28	414.04375
ln29	414.05625
ln30	414.06875
ln31	414.08125
ln32	414.09375
ln33	414.10625
ln34	414.11875
ln35	414.13125
ln36	414.14375

■標準受信周波数

HX826 受信チャンネル	HX826 受信周波数 (MHz)
r ch01	454.0500
r ch02	454.0625
r ch03	454.0750
r ch04	454.0875
r ch05	454.1000
r ch06	454.1125
r ch07	454.1250
r ch08	454.1375
r ch09	454.1500
r ch10	454.1625
r ch11	454.1750
r ch12	454.1875

■インターリーブ受信周波数

HX826 受信チャンネル	HX826 受信周波数 (MHz)
r ln01	454.05625
r ln02	454.06875
r ln03	454.08125
r ln04	454.09375
r ln05	454.10625
r ln06	454.11875
r ln07	454.13125
r ln08	454.14375
r ln09	454.15625
r ln10	454.16875
r ln11	454.18125
r ln12	454.19375

■トーン番号と周波数

トーン番号	周波数 (Hz)	トーン番号	周波数 (Hz)
A01	107.2	b01	179.9
A02	114.8	b02	167.9
A03	123.0	b03	156.7
A04	131.8	b04	146.2
A05	141.3	b05	136.5
A06	151.4	b06	127.3
A07	162.2	b07	118.8
A08	173.8	b08	110.9
A09	186.2	b09	103.5
A10	203.5	b10	94.8
A11	218.1	b11	82.5
A12	233.6	b12	71.9
A13	250.3	b13	241.8
A14	67.0	b14	225.7
A15	77.0	b15	210.7
A16	88.5	b16	192.8
A17	100.0	non	トーン無し

工場出荷設定

設定項目一覧

Std：固定通話方式のディーラー設定項目一覧

■C：子機モードの場合

	表示例	項目	設定値	初期値
1	PC C	親機モード	C (C)：子機モード P2 (P2)：親機モード (3者間通話) ※ P1 (P1)：親機モード (2者間通話) ※ ※：親機モードを設定すると自動通話方式 (Auto) とチャンネル選択方式 (cSr) は、表示されません。	C
2	Std	通話方式	Std (Std)：固定通話方式 Auto (Auto)：自動通話方式 (Auto) cSr (cSr)：チャンネル選択方式	Std
3	AFL -3	マイク感度	1 (1)：-6dB (低感度) 2 (2)：-3dB 3 (3)：0dB (標準) 4 (4)：+3dB 5 (5)：+6dB (高感度)	3
4	PttG	PTT/トグル	tG (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す Pt (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	tG
5	CLPon	終話時CALL ボタン長押し	on (on)：終話の際にCALL ボタン長押し (1秒) oF (oF)：終話の際にCALL ボタン短押し	on
6	dP -n	反転表示	n (n)：通常表示、r (r)：反転表示	n
7	b-oF	バッテリー残量警告音	oF (oF)：警告音オフ、on (on)：警告音オン	oF
8	A1-21	システムメモリー	A ~ E：固定通話方式5種類のシステムをメモリー	A
		親機リモコンモード PSet	システムメモリーにて、[CALL] ボタンの押下時に選択されたシステムを親機へ送信し、親機の設定を変更する	
9	A1-21	チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	21
10	A1-21	子機番号	子機番号を設定	1
11	CLP oF	HX826 対向モード	oF (oF)：通話時に親機側から切断しても、子機側の送信は停止しない on (on)：通話時に親機側から切断すると、子機側の送信は停止する 3者間通話、2者間通話の場合、子機側はHX826 対向モードをオンにする必要があります。	oF
12	t A01	送信トーン	固定通話方式送信のトーンを設定	A01
13	r A01	受信トーン	固定通話方式の受信トーンを設定	A01
14	b5-on	バッテリーセーブ	on (on)：バッテリーセーブオン oF (oF)：バッテリーセーブオフ	on
15	PCL oF	電源ON時自動接続	oF (oF)：電源ON時自動接続オフ on (on)：電源ON時自動接続オン	oF
16	LEdoF	通話中LED 自動消灯	oF (oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯 on (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を 通話開始後 15秒 で消灯	oF

	表示例	項目	設定値	初期値
17	tb of	トーンバースト	of(of) : トーンバースト機能の無効 on(on) : トーンバースト機能の有効	of
18	pt of	親機連続送信 (R9020、RP848 設定用)	of(of) : 親機連続送信機能の無効 on(on) : 親機連続送信機能の有効	of
19	lt of	通話圏外警告音	of(of) : 通話エリア外警告音設定の無効 on(on) : 通話エリア外警告音設定の有効	of
20	Att of	親機アッテネータ (R9020、RP848 設定用)	of(of) : 親機アッテネー機能の無効 on(on) : 親機アッテネー機能の有効	of

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

■P2：親機モード（3者間通話）の場合

	表示例	項目	設定値	初期値
1	<i>PC P2</i>	親機モード	<i>C</i> (C)：子機モード <i>P2</i> (P2)：親機モード（3者間通話）※ <i>P1</i> (P1)：親機モード（2者間通話）※ ※：親機モードを設定すると自動通話方式（Auto）とチャンネル選択方式（cSr）は、表示されません。	<i>C</i>
2	<i>Std</i>	通話方式	<i>Std</i> (Std)：固定通話方式	<i>Std</i>
3	<i>AFL-3</i>	マイク感度	<i>1</i> (1)：-6dB（低感度） <i>2</i> (2)：-3dB <i>3</i> (3)：0dB（標準） <i>4</i> (4)：+3dB <i>5</i> (5)：+6dB（高感度）	<i>3</i>
4	<i>PttttG</i>	PTT/トグル	<i>tG</i> (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す <i>Pt</i> (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	<i>tG</i>
5	<i>CLPon</i>	終話時CALL ボタン長押し	<i>on</i> (on)：終話の際にCALL ボタン長押し（1秒） <i>oF</i> (oF)：終話の際にCALL ボタン短押し	<i>on</i>
6	<i>dP-n</i>	反転表示	<i>n</i> (n)：通常表示、 <i>r</i> (r)：反転表示	<i>n</i>
7	<i>b-oF</i>	バッテリー残量警告音	<i>oF</i> (oF)：警告音オフ、 <i>on</i> (on)：警告音オン	<i>oF</i>
8	<i>21</i>	チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	<i>21</i>
9	<i>t A01</i>	送信トーン	固定通話方式送信のトーンを設定	<i>A01</i>
10	<i>r 1A01</i>	受信1 トーン	固定通話方式の受信1 トーンを設定	<i>A01</i>
11	<i>r 2A01</i>	受信2 トーン	固定通話方式の受信2 トーンを設定	<i>A01</i>
12	<i>b5-on</i>	バッテリーセーブ	<i>on</i> (on)：バッテリーセーブオン <i>oF</i> (oF)：バッテリーセーブオフ	<i>on</i>
13	<i>PCLoF</i>	電源ON時自動接続	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動接続オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動接続オン	<i>oF</i>
14	<i>LEdoF</i>	通話中LED 自動消灯	<i>oF</i> (oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯 <i>on</i> (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を 通話開始後 15秒 で消灯	<i>oF</i>
15	<i>tb oF</i>	トーンバースト	<i>oF</i> (oF)：トーンバースト機能の無効 <i>on</i> (on)：トーンバースト機能の有効	<i>oF</i>
16	<i>CntoF</i>	連続送信	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動送信オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動送信オン	<i>oF</i>

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

■P1：親機モード（2者間通話）の場合

	表示例	項目	設定値	初期値
1	<i>PC P1</i>	親機モード	<i>C</i> (C)：子機モード <i>P2</i> (P2)：親機モード（3者間通話）※ <i>P1</i> (P1)：親機モード（2者間通話）※ ※：親機モードを設定すると自動通話方式（Auto）とチャンネル選択方式（cSr）は、表示されません。	<i>C</i>
2	<i>Std</i>	通話方式	<i>Std</i> (Std)：固定通話方式	<i>Std</i>
3	<i>AFL-3</i>	マイク感度	<i>1</i> (1)：-6dB（低感度） <i>2</i> (2)：-3dB <i>3</i> (3)：0dB（標準） <i>4</i> (4)：+3dB <i>5</i> (5)：+6dB（高感度）	<i>3</i>
4	<i>PttG</i>	PTT/トグル	<i>tG</i> (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す <i>Pt</i> (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	<i>tG</i>
5	<i>CLPon</i>	終話時CALLボタン長押し	<i>on</i> (on)：終話の際にCALLボタン長押し（1秒） <i>oF</i> (oF)：終話の際にCALLボタン短押し	<i>on</i>
6	<i>dP-n</i>	反転表示	<i>n</i> (n)：通常表示、 <i>r</i> (r)：反転表示	<i>n</i>
7	<i>b-oF</i>	バッテリー残量警告音	<i>oF</i> (oF)：警告音オフ、 <i>on</i> (on)：警告音オン	<i>oF</i>
8	<i>21</i>	チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	<i>21</i>
9	<i>t A01</i>	送信トーン	固定通話方式送信のトーンを設定	<i>A01</i>
10	<i>r A01</i>	受信トーン	固定通話方式の受信トーンを設定	<i>A01</i>
11	<i>bS-on</i>	バッテリーセーブ	<i>on</i> (on)：バッテリーセーブオン <i>oF</i> (oF)：バッテリーセーブオフ	<i>on</i>
12	<i>PCLoF</i>	電源ON時自動接続	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動接続オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動接続オン	<i>oF</i>
13	<i>LEdoF</i>	通話中LED自動消灯	<i>oF</i> (oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯 <i>on</i> (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を 通話開始後15秒で消灯	<i>oF</i>
14	<i>tb oF</i>	トーンバースト	<i>oF</i> (oF)：トーンバースト機能の無効 <i>on</i> (on)：トーンバースト機能の有効	<i>oF</i>
15	<i>CntoF</i>	連続送信	<i>oF</i> (oF)：電源ON時自動送信オフ <i>on</i> (on)：電源ON時自動送信オン	<i>oF</i>

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

Auto：自動通話方式のディーラー設定項目一覧

	表示例	項目	設定値	初期値
1	 C	親機モード	 (C)：子機モード	C
2		通話方式	 (Std)：固定通話方式  (Auto)：自動通話方式 (Auto)  (cSr)：チャンネル選択方式	Std
3	 -3	マイク感度	 (1)：-6dB (低感度)  (2)：-3dB  (3)：0dB (標準)  (4)：+3dB  (5)：+6dB (高感度)	3
4		PTT/トグル	 (tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す  (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	tG
5		終話時 CALL ボタン長押し	 (on)：終話の際に CALL ボタン長押し (1 秒)  (oF)：終話の際に CALL ボタン短押し	on
6	 -n	反転表示	 (n)：通常表示、  (r)：反転表示	n
7		バッテリー残量警告音	 (oF)：警告音オフ、  (on)：警告音オン	oF
8		親機リモコンモード	[CALL] ボタンの押下にて選択されたシステム設定を親機へ送信し、親機の設定を変更する	
9		チャンネルプラン番号	チャンネルプラン番号を設定	81
10		送信トーン	自動通話方式送信のトーンを設定	A01
11		通話圏外警告音	 (oF)：通話エリア外警告音設定の無効  (on)：通話エリア外警告音設定の有効	oF
12		通話中 LED 自動消灯	 (oF)：通話中の TX/BUSY ランプ常時赤点灯  (on)：通話中の TX/BUSY ランプ赤点灯を通話開始後 15 秒で消灯	oF
13		トーンバースト	 (oF)：トーンバースト機能の無効  (on)：トーンバースト機能の有効	oF
14		親機アッテネータ設定 (R9020、RP848 設定用)	 (oF)：親機アッテネー機能の無効  (on)：親機アッテネー機能の有効	oF

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

cSr：チャンネル選択方式のディーラー設定項目一覧

	表示例	項目	設定値	初期値
1		親機モード	(C)：子機モード	C
2		通話方式	(Std)：固定通話方式 (Auto)：自動通話方式 (Auto) (cSr)：チャンネル選択方式	Std
3		マイク感度	(1)：-6dB (低感度) (2)：-3dB (3)：0dB (標準) (4)：+3dB (5)：+6dB (高感度)	3
4		PTT/トグル	(tG)：[CALL] ボタン押下毎に送信、送信停止を繰り返す (Pt)：[CALL] ボタン押下時のみ送信	tG
5		終話時CALL ボタン長押し	(on)：終話の際にCALL ボタン長押し (1 秒) (oF)：終話の際にCALL ボタン短押し	on
6		反転表示	(n)：通常表示、 (r)：反転表示	n
7		バッテリー残量警告音	(oF)：警告音オフ、 (on)：警告音オン	oF
8		親機リモコンモード	[CALL] ボタンの押下にて選択されたシステム設定を親機へ送信し、親機の設定を変更する	
9		システム番号	システム番号を設定	8
10		子機番号	子機番号を設定	1
11		子機送信周波数	チャンネル選択方式の子機送信周波数の1～8を設定 ※システム番号の数の設定が必要 2：2チャンネル 4：4チャンネル 8：8チャンネル	ch01
12		子機受信周波数	チャンネル選択方式の子機受信周波数を設定	ch01
13		子機送信トーン	チャンネル選択方式の子機送信トーンの1～8を設定 ※システム番号の数の設定が必要 2：2チャンネル 4：4チャンネル 8：8チャンネル	A01
14		子機受信トーン	チャンネル選択方式の子機受信トーンを設定	A01
15		バッテリーセーブ	(on)：バッテリーセーブオン (oF)：バッテリーセーブオフ	on
16		電源ON時自動接続	(oF)：電源ON時自動接続オフ (on)：電源ON時自動接続オン	oF
17		通話中LED自動消灯	(oF)：通話中のTX/BUSYランプ常時赤点灯 (on)：通話中のTX/BUSYランプ赤点灯を 通話開始後 15 秒 で消灯	oF



	表示例	項目	設定値	初期値
18	<i>bt of</i>	トーンバースト	<i>of</i> (of)：トーンバースト機能の無効 <i>on</i> (on)：トーンバースト機能の有効	of
19	<i>pt of</i>	親機連続送信 (RP848)	<i>of</i> (of)：親機連続送信機能の無効 <i>on</i> (on)：親機連続送信機能の有効	of
20	<i>lt of</i>	通話圏外警告音	<i>of</i> (of)：通話エリア外警告音設定の無効 <i>on</i> (on)：通話エリア外警告音設定の有効	of
21	<i>Att of</i>	親機アッテネータ設定 (RP848)	<i>of</i> (of)：親機アッテネー機能の無効 <i>on</i> (on)：親機アッテネー機能の有効	of

- 項目の3～7は、ユーザー設定と同一です。

その他

故障かな?と思ったら

無線機が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症 状	確認	処置
電源が入りません。	付属の電池パックは充電されていますか？	お買い上げ時、付属の電池パックは充電されていません。充電器で充電してください。 また、長期間ご使用にならなかったときも充電してからお使いください。
音声が出ません。	TX/BUSYランプは赤色に点灯していますか？	TX/BUSYランプが赤色に点灯していない場合、通話相手の方とチャンネル番号または設定内容が違っている可能性があります。チャンネル番号または設定内容を合わせてください。
	タイピンマイクは正しく接続されていますか？	本機には内蔵スピーカーはありません。音声はタイピンマイクから出ます。 タイピンマイクを正しく接続してください。
チャンネルが変わりません	 が表示されていますか。	 が表示されている場合、キーロックされています。[FUNC] ボタンを5 秒以上押してキーロックを解除してください。
送信できません。	信号を受信していることを示すTX/BUSYランプは緑色に点灯していますか？	他の人が同じチャンネルを使用中です。TX/BUSYランプの緑色が消えるのを待ってから送信してください。

本機をオールリセットする

「故障かな？と思ったら」をお試しいただいても問題が解決できない場合は、本機をオールリセットしてみてください。

アドバイス

- 本機をオールリセットする前に、設定した内容をメモしておくことをお勧めします。リセットをおこなうと本機の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 [CALL]、[FUNC] と [+] ボタンを同時に押しながら、電源を入れる

- ID 番号に「**FARoF** (FAroF)」が表示されます。

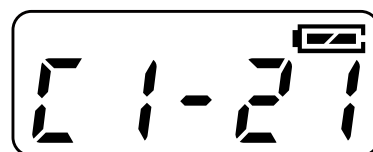


- 4 [+] または [-] ボタンを押して、「**FARon** (FARron)」に変更する



- 5 オールリセットを行うには、[FUNC] ボタンを押す

- 「**FAREd** (FARrEd)」が表示された後、工場出荷状態の表示に戻ります。



アドバイス

- オールリセットされると本機は、各設定が工場出荷状態になります。
- 本機をオールリセットしても問題が解決されない場合は、販売店あるいはCSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

定格、外形寸法

本体定格

一般仕様

使用周波数	413.70000MHz ~ 414.14375MHz 1mW 454.05000MHz ~ 454.19395MHz 1mW
電波形式	F3E、F2D（制御チャンネルはF2Dのみ）
通信方式	複信方式 / 単信方式
電源電圧	DC3.6V
発振方式	水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
アンテナ	ヘリカルアンテナ
周波数切替方式	手動切替 / 自動切替
使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃
寸法	幅 58.0mm 高さ 87.0mm 奥行き 24.0mm (突起物含まず)
質量	約 150g (電池パック含む)
認証番号	001-A20331

送信仕様

送信出力	1mW 以下
周波数の偏差	± 4.0ppm 以下
占有周波数帯幅	8.5kHz 以内
スプリアス発射強度	2.5 μ W 以下
最大周波数偏移	± 2.5kHz 以下
変調方式	周波数変調方式
通話時間	無制限

受信仕様

受信感度	-5.0dBu 以下 (12dB SINAD)
スケルチ感度	-6.0dBu 以下
低周波出力	20mW 以上 (8 Ω 負荷)
副次的に発する電波等の限度	4nW 以下

電池使用可能時間

子機モード (通常)	約 10 時間 (CBP825LIA 使用時) 約 15 時間 (単 3 形アルカリ乾電池使用時) (連続通話)
親機モード (3 者間通話)	約 8 時間 (CBP825LIA 使用時) 約 13 時間 (単 3 形アルカリ乾電池使用時) (連続通話)

株式会社CSR

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<https://www.kcsr.co.jp/>

CSRカスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : wavecsr_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

お問い合わせは、販売店あるいはCSRカスタマーサポートで承っております。